



広報

福島県大熊町

創る、巡る、贈る おおくま。

おおくま

4

2024

No. 621



節目につどい、
祈る

おおくま 3.11 のつどいが 3月11日、大熊町役場前
広場で開かれました。掲揚された折り鶴の下に献花台が
設置され、来場者が献花を行いました。学び舎ゆめの森
の子どもたちも花を手向け、節目となる日に祈りを捧げ
ました。(記事 10 ページ)

特集／施政方針／当初予算／第3次復興計画

まちの話題 10 ページ | お知らせ 18 ページ | すこやかライフ 30 ページ | 町民掲示板 37 ページ

令和6年度施政方針

3月5日から15日まで開かれた町議会3月定例会で2024（令和6）年度の施政方針を吉田淳町長が表明し、4月からの町政運営の基本方針、重点施策、予算額を説明しました。



全文は町公式HPからご確認ください。

本年11月1日に町制施行70周年を迎えます。このような歴史的な節目を迎えることは、町政における過去の成果を振り返りつつ、未来に向けて新たな展望を描く絶好の機会と捉えています。

町に「戻りたい方」、「戻らない方」、「新たに町民となる方」に「戻ってよかった」、「つなかりを持ち続けてよかった」、「移り住んでよかった」と実感していただくための施策に取り組み、努力を重ねる。

これは5年前の町長就任以来、変わることはない目標であり、信念です。

まだまだ課題は山積しておりますが、昨年12月に策定した「大熊町第3次復興計画」に基づく各施策に全力で取り組み、これまで以上に職員一同一丸となり復興の歩みを進めてまいりますので、皆さまのさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

大熊町長 吉田淳



町制施行70周年記念行事

本町は本年11月1日をもって町制施行70周年を迎えます。これまでの町の礎を築いてきた先達の努力に敬意を示し、町として70周年記念式典を開催します。



町政懇談会

町の状況が刻々と変化する中、町の取組をお知らせするとともに、広く皆さまのご意見・ご要望を伺う機会を持ちたく、町政懇談会を開催します。



機構改革

町の重要施策を推進し、これまで以上に利便性を高めるべく、4月1日から機構改革による新体制で皆さまをお迎えします。

特定帰還居住区域

特定帰還居住区域に設定された10行政区で本格的な除染工事が始まります。引き続き、帰還意向のない土地や家屋・農地などの取り扱いを国と協議を重ね、町内全域の避難指示解除に向けて努力してまいります。



企業誘致

大熊中央産業拠点、西工業団地整備と新技術の研究開発や社会実装に挑戦的な企業の誘致により、帰町される方、新たに居住される方の働く場を創出し、定住人口の増加につなげます。



グリーン購入の促進

現在、(仮称)大熊町グリーン調達方針の策定を進めており、町が率先して環境負荷の少ない物品や役務の調達を行います。



電力の地産地消

坂下ダムの小水力発電設置工事や下野上地区スマートコミュニティ事業を進め、これらの再生可能エネルギー電力の地産地消を推進することで持続可能なまちづくりと町の復興を加速します。



税の減免措置

町民の皆さまの多くは避難生活が続いておりますので、引き続き被災者の負担軽減を図るべく課税の減免措置を講じます。

医療費適正化

第4期特定健診・特定保健指導実施計画に基づき、効率よく効果的に生活習慣病予防と早期発見による医療費の適正化に取り組みます。

医療費一部負担金の免除措置

町の避難指示が続く限り、医療費の一部負担金免除の財政支援を国に要望します。

こども家庭センターの設置

子どもや子育て世帯を包括的に支援する「こども家庭センター」を新たに設置。保健・福祉・教育等の連携を図り、相談体制の整備、要支援児童等の対策を強化します。



ワクチン助成

新たに50歳以上の方を対象とした带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を行うとともに、新型コロナウイルスの接種も国の方針に基づき対応を進めます。



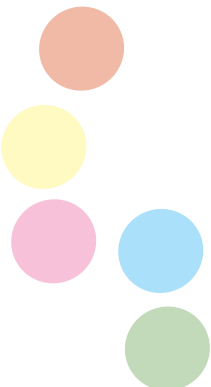
避難先自治体等との連携

避難先自治体や関係機関と連携を図り、避難先でも十分な各種サービスが受けられるよう協力をいただきながら町民福祉の向上に努めます。



官学連携の推進

放射線研究や人材育成などの分野で連携協定を締結している大阪大学の仮設キャンパスを誘致し、官学連携事業の展開などで、さらなる連携の深化を進めます。



住環境整備

下野上地区で再生賃貸住宅の円滑な入居を進めるとともに、原住宅エリアの宅地分譲を開始します。



移住定住PRの強化

移住定住促進のため、PR動画の作成、SNS、インターネット、テレビパブリシティ等を活用した周知、広報を強化します。



営農者支援

耕作面積の拡大や農地の荒廃抑制のための保全管理、水稲の実証栽培を行うとともに、営農再開者や新規の参入希望者に対する相談、農地賃貸借のマッチング作業を進めます。



にぎわい創出

大野駅西地区産業交流施設、商業施設への入居事業者との調整を進め、年度内の運営開始を目指します。また、ふるさとまつりを始めとした各種イベントや交流会等を実施することで町のにぎわい創出を図ります。



下野上地区一団地事業

2月に完成した大熊中央産業拠点に続き、大野駅周辺の基盤整備工事を進めます。

インフラ整備

特定帰還居住区域の上水道や道路等の生活インフラの復旧を進めます。国道6号までの開通を目指す町道東67号線、大型車のスムーズな通行ができるように改良工事を行っている県道いわき浪江線・町道西20号線の交差点は令和6年度中の完成を予定しています。



イノベーション人材の育成

子どもたちに、町民の皆さまをはじめ、地域でがんばる多様な人々や専門家との交流を通じた学びや遊びの機会を数多く創出することで、自らの良さを生かし、未来で活躍できる創造的思考を育み、これからのイノベーション人材の育成に努めます。



グリーン留学（体験入学・入園）の継続

学び舎ゆめの森の特徴的な教育環境を実際に体感し、一人でも多くの子どもたちが通いたくなるよう、ひいてはさらなる帰還促進、移住定住施策の一助となるよう体験入学・入園に積極的に取り組めます。



これらの施策も取り組みます

- ・ゼロカーボン補助金
- ・町有林の二酸化炭素吸収量調査
- ・マイナンバーカード未取得者への働きかけ
- ・成年後見人制度の充実と地域関係機関との連携・調整を行う中核機関の設置
- ・労働世代の生活習慣病予防、介護予防事業
- ・第9期介護保険事業計画に基づいた各種事業の展開
- ・帰還困難区域への立ち入り業務
- ・町内のゴミの回収や畜犬管理
- ・墓地関係の窓口業務
- ・特定復興再生拠点内の宅地除草の継続
- ・防犯、防火対策の強化
- ・避難指示解除済区域のフォローアップ除染の要請
- ・空間線量率低減の効果等について町による検証の継続
- ・東京電力の監視強化
- ・帰還者、転入者のための住宅関連補助の継続
- ・住宅清掃費補助、転居費用補助の継続
- ・コミュニティ活動の復興支援員の増員
- ・移住定住センターによる地域課題解決につながるアイデア実現サポートの取り組み
- ・町内での利便性を向上させる新たな交通システムの検討
- ・水稻の作付け再開に備えた農業用ため池の放射性物質対策工事および災害復旧工事
- ・ふくしま森林再生事業の全体計画策定
- ・県と連携した坂下ダムの維持管理
- ・大熊 IC 周辺の地域振興施設の一体的整備の検討
- ・子どもたちの途切れのない一貫した学びの展開
- ・読書の町おおくまの精神の継承
- ・地域全体で課題解決に向けた取組ができる生涯学習活動の実現
- ・バースト市との姉妹都市交流の継続およびグローバル化に応じた人材育成
- ・町の生活や文化に関する記憶の継承
- ・主体的にスポーツに親しむための仕組みづくり
- ・歴史、伝統、文化を生かしながら、新しい時代の変化に対応した教育施策の展開

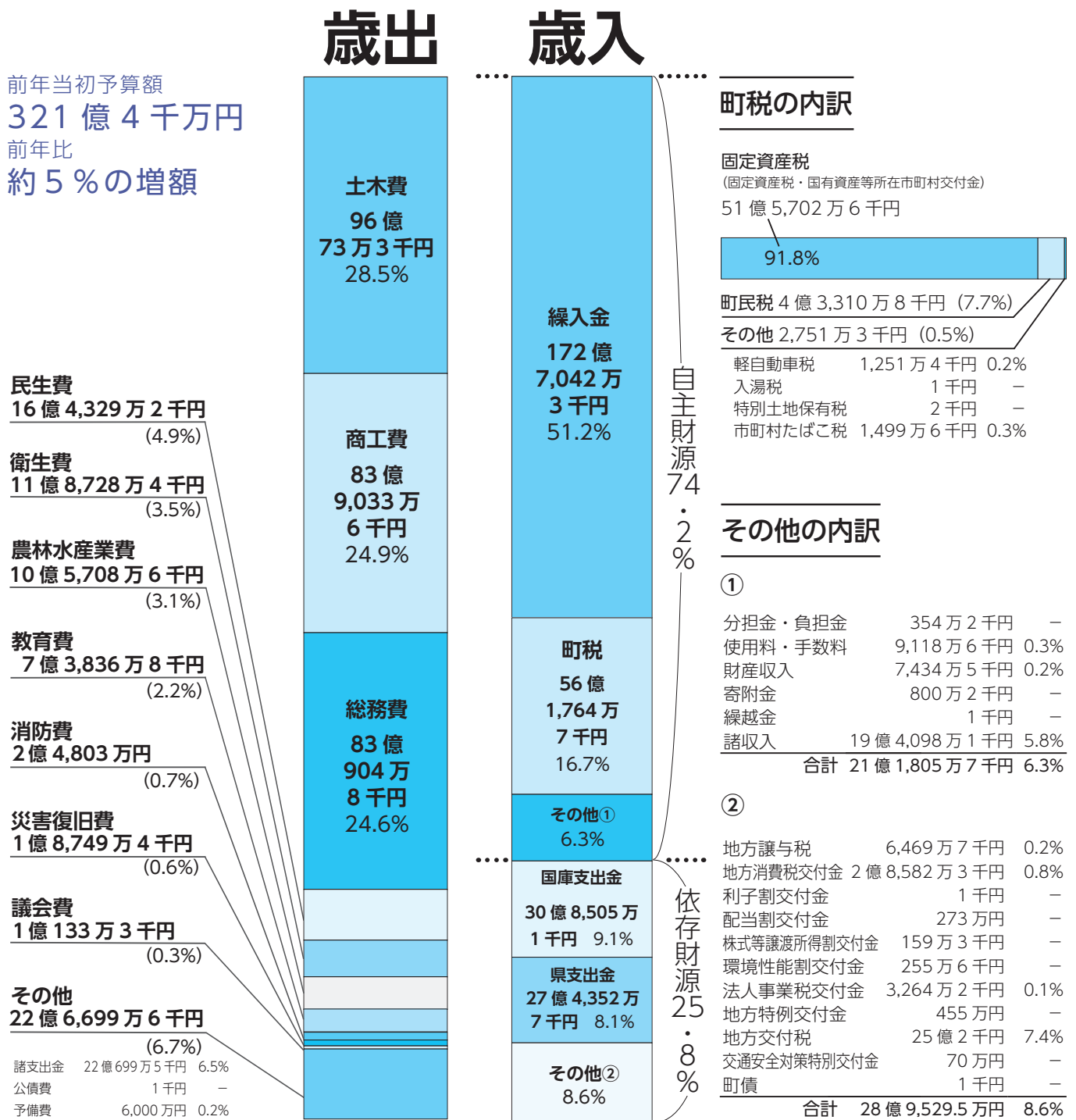


令和6年度 大熊町の当初予算

一般会計 337 億 3 千万円 (過去最大)

3月に開催した第1回大熊町議会定例会で、令和6年度一般会計当初予算、その他10の特別会計当初予算が可決されました。

復興拠点整備事業（約78億円）、産業交流施設整備事業（約50億円）、大野駅西商業施設整備事業（約25億円）等の主要施策に取り組む予算編成となっています。一般会計当初予算の額は昨年度より15億9千万円増額しており、過去最大の337億3千万円となりました。



主な事業と予算額

総務費

大熊町帰還環境整備交付金基金費	15億6,042万2千円
特定原子力施設交付金(維持補修)基金費	11億2,151万1千円
西大和久地区整備事業	7億6,062万3千円
庁内行政ネットワーク事業	4億867万2千円

民生費

自立支援事業	2億8,879万1千円
児童手当支給事業	2億1,380万2千円
介護保険事業特別会計繰出金	1億8,594万3千円
後期高齢者医療費	1億2,000万9千円

衛生費

環境衛生費広域負担経費 (塵芥処理費負担金等)	4億9,331万円
環境一般経費	1億2,401万3千円
予防費一般経費	1億1,356万9千円

農林水産費

農地防災整備事業	5億3,676万9千円
農地費一般経費 (福島県営農再開支援事業補助金等)	1億2,195万1千円
農地総務費一般経費 (農地保全業務委託等)	8,534万6千円

商工費

産業交流施設整備事業	49億7,054万5千円
大野駅西商業施設整備事業	25億4,688万3千円
交流ゾーン管理事業	3億277万円
駅西施設管理事業	2億1,744万1千円

土木費

復興拠点整備事業	78億3,561万5千円
道路新設改良事業	8億1,307万円
住宅促進事業	3億8,160万1千円
道路維持事業	2億7,079万5千円

消防費

常備消防費一般経費 (双葉地方広域市町村圏組合消防費負担金等)	1億8,020万5千円
防災対策一般経費	3,143万5千円

教育費

小学校管理費	1億1,446万3千円
社会教育複合施設整備事業	1億1,211万3千円

災害復旧費

農地等施設災害復旧事業	1億4,935万3千円
林業等施設災害復旧事業	2,214万1千円

諸支出金

工業団地造成事業特別会計繰出金事業	16億2,606万7千円
特定環境保全公共下水道事業特別会計繰出金事業	3億3,484万4千円

用語の解説

自主財源	…町税や手数料など町が自らの収入にできる財源
依存財源	…国や県が定めた額を交付・割り当てられた財源
繰入金	…一般会計と特別会計、基金等の中で移動するお金
町税	…町民税や固定資産税など皆さんが納めた税金
国庫・県支出金	…特定の町事業に対して国や県から交付されるお金
地方譲与税	…国が徴収した国税を地方自治体に譲与するお金
議会費	…議会の活動に要する経費
総務費	…人事、企画、財政、戸籍、統計や交通安全など、他部門に分類されない経費
民生費	…社会福祉、児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護、国民年金、災害援助などの経費
衛生費	…保健衛生、母子保健、廃棄物処理、公害対策などの経費
農林水産業費	…農業、林業、水産業の経費
商工費	…商工業の振興、観光振興などの経費
土木費	…道路維持、都市計画、復興拠点整備事業、災害公営住宅管理などの経費
消防費	…消防、防災事業などの経費
教育費	…学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの経費
災害復旧費	…大雨、暴風、地震などの災害復旧に要する経費
公債費	…地方自治体の借入金の元金と利子を支払う経費
諸支出金	…他の歳出科目のいずれにも分類されない経費

特別会計

53億6,224万8千円

①坂下ダム施設管理事業	6,750万円
②国民健康保険	20億2,717万3千円
③奨学資金貸与	1,290万3千円
④特定環境保全公共下水道事業	3億3,555万9千円
⑤農業集落排水事業	1億7,201万円
⑥住宅団地造成事業	5千円
⑦工業団地造成事業	16億2,606万8千円
⑧介護保険事業	11億2,299万7千円
⑨後期高齢者医療	4,629万9千円
⑩霊園管理事業	1,248万4千円
合計	53億6,224万8千円



できました!

大熊町マスコットキャラクター
まおちゃん

第3次復興計画

大熊町は、東日本大震災と原子力災害からの復興まちづくりを加速させるため、町の今後10年間の進むべき方向性を示した大熊町第3次復興計画を策定しました。

問 企画調整課



大熊町マスコットキャラクター
おおちゃん小法師

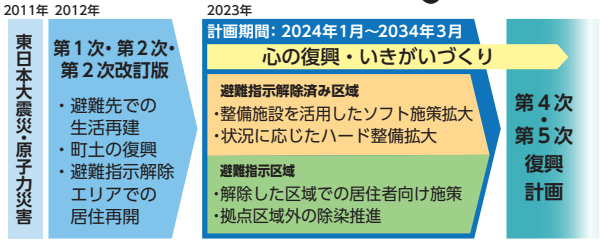
計画期間は10年。
これまでの生活再建と町土復興に加え、心の復興や生きがいのつくりにも力を入れているよ。



改訂後、避難指示の解除や大川原地区復興拠点の整備など、多くの出来事があったね。

第2次復興計画を改訂して4年が経ち、町の状況が大きく変わったから、町の方針を見直したんだ。

現在の様子だよ



学び舎ゆめの森の新校舎も完成したね♪



町に想いを抱く「みんな」に「自分もまちづくりに関わって」を「自負心(シビックプライド)」を持ってもらい、持続的な地域づくりと一緒に取り組んでいきたいと思う。思いが込められた計画だよ。



コンセプト 「想いと誇りでつくる大熊」

理念1

町民一人一人の安心で充実した暮らしの実現

理念2

大熊町への自分に合った関わり・交流を育む町

理念3

ふるさとの想いを伝え、これからの担う人づくり

柱1

町を支えるインフラ整備

柱2

暮らしに向けた仕組みづくり

柱3

みんなで主体的に学び合う生涯学習環境づくり

柱4

魅力的な産業づくりと研究開発の展開

柱5

まちへの主体的な関わりを促進する環境づくり

柱6

未来へつなぐ、持続可能な地域づくり

実現するには、町に住んでいる人や避難を続けている人だけでなく町に関わるすべての人たちの協力が必要なんだ。

幅広い施策だね。こんなにできる。





復興計画は町公式ホームページでご覧いただけます。本編のほか、要点をまとめた概要版もあります。

ぜひご覧ください。

園児のかわいい手形が目印のQRコードをご用意しています。

そつだね。だけど、これだけで町の課題はすべて解決できないんだ。町内全域の避難指示解除や2040年のゼロカーボン達成などの町の目標に向かって、いろいろな取り組みを進めていくよ。

復興のステージが進んでいくね。

駅周辺の完成楽しみ♪

あの日を思い、町民ら祈る 3月11日に有志が追悼の催し



町役場前広場で黙とうする町民や児童生徒ら

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の発生から13年となる3月11日、町内で町民有志らによる追悼イベント「おおくま3.11のつどい」が開かれました。

会場となった大熊町役場前の広場には、2024年にちなんで2024羽の折り鶴が掲げられ、その中心に慰霊の標柱が建てられました。また、献花台も設置され、訪れた町民らが次々に花を捧げました。



献花台前で祈る町民ら



会場に設置された標柱と献花台、折り鶴



献花を行う吉田町長（中央）

地震発生時刻の午後2時46分には、町民や学び舎ゆめの森の児童生徒らが折り鶴の前に並び、町消防団ラッパ隊の演奏に合わせて黙とうを行いました。

イベントの実行委員長を務めた松永秀篤さんは「震災の体験を語り継ぎ、災害に備えてもらい減災・防災につなげたい。震災を忘れないための催しとして続けてい

きたい」、吉田淳町長は「町民にとって重要な節目の日。それぞれの思いを胸に祈念いただきたい。これからも皆さまと共に明るい未来を切り開く」と述べました。

献花と黙とうを行った学び舎ゆめの森9年生の石井埜乃佳さんは「震災を忘れず、今後の人に伝えていきたい。復興してにぎやかな町になってほしい」と述べました。

津波で失った思い出探す 熊川地区の津波流出物返還



並べられた流失物を確認する住民ら

熊川地区で見つかった津波流失物の住民による確認作業が2月20日、町内中間貯蔵施設で行われました。

町と県、環境省、大阪大が共同で実施。施設のテント内には、震災の津波で被災した熊川周辺に堆積していたものや木村紀夫さんが津波で亡くなった次女・汐風さんの捜索活動中に見つけたものなど約600点が並べられました。

熊川地区の住民15人がテントを訪れ、写真や衣服、生活用品などを手に取り、所有者の名前や手がかりがないか確認しながら、思い出の品を探しました。



町復興の取り組み視察 ウクライナ政府の視察団が来町



学び舎ゆめの森を視察するウクライナ視察団

ウクライナから来日した視察団が2月21日、大熊町を訪れ、震災と原子力災害からの復興再生への取り組みを視察しました。

視察は、国際協力機構がロシアによる侵攻で被害を受けた同国の復旧に役立ててもらおうと実施。ウクライナ政府 地方・国土・インフラ発展省のディミトロ・トゥルチャク局長を団長とした10人が、大熊町役場で島和広副町長や町職員らから町の復興に向けた動きについて説明を受けました。

また、学び舎ゆめの森では、視察団が南郷市兵校長から説明を受けながら校内を回り、児童生徒の学習風景を見学しました。



視察団を歓迎する学び舎ゆめの森の子どもたち



大熊町役場で意見交換する視察団

社会教育複合施設の使い方考える みらいのおおくまマッピングワークショップ



施設の使い方を検討する参加者

大野駅西口で令和9年度整備予定の大熊町社会教育複合施設に反映するため、1月の第1回に続き、第2回、第3回の「みらいのおおくまマッピングワークショップ」が開かれました。

第2回は2月11日、「『できたらいいこと』に必要なヒト・モノ」をテーマに開催され10人が参加。文化と町民のふれあいの場づくりや記憶を記録する活動、町の思い出のラジオ配信などの意見が挙げられました。

第3回は3月2日、「『できたらいいこと』どこです?」をテーマに開催。参加者16人が施設内での居場所をイメージし、家具、仕切り、本や展示の写真と参加者の写真を並べて空間の使い方を考えました。

全3回での意見を参考に施設の計画が進められます。また、今後も新たなワークショップの開催が予定されています。

巣立ちを記念し宇宙桜植える きぼうの桜 卒園・卒業記念植樹



きぼうの桜に土をかける卒園児と卒業生ら3人

町立学び舎ゆめの森の卒園児と卒業生の3人が3月8日、卒園・卒業を記念し、大川原地区の頭森公園に桜の苗木を植樹しました。

植えられた桜は「きぼうの桜」という名前で、国際宇宙ステーション「きぼう」に運ばれて宇宙で約8か月を過ごした「宇宙桜」と呼ばれる桜の種から育てた苗木です。また、日本三大桜の一つとして知られ、推定樹齢2,000年とも言われる山梨県北杜市のエドヒガンザクラ「山高神代桜」の孫桜にあたります。



記念式典で記念撮影に収まる出席者ら

苗木は、桜を宇宙からも見える復興のシンボルにして震災の風化を防ぐ「きぼうの桜プロジェクト」を実施する一般財団法人ワンアースの支援を受け、きぼうの桜を育てている北杜市から譲り受けました。

学び舎ゆめの森で開かれた記念式典では、ワンアースの長谷川洋一代表と甚野源次郎顧問から3人へ宇宙桜の証である宇宙フライト証明書と地球をイメージした直径約5センチのラピスラズリの玉「継石^{きずないし}」が手渡されました。また、宇宙飛行士の山崎直子さんからのビデオメッセージが披露されました。



長谷川代表（左）から証明書を受け取る卒業生



北杜市で苗木の贈呈式に参加する関係者ら

式典で長谷川代表は「震災のことを千年先まで伝える文化財として成長する桜とともに、震災のことを学び伝えてください」、南郷市兵校長は「大熊で学んだ子どもたちの中から国際宇宙ステーションに行く人が出て、宇宙からこの桜を見つけてくれることを期待します」と述べました。

式典後、3人は頭森公園できぼうの桜の根本にシャベルで土をかけて桜の成長を願いました。植樹した卒業生は「100年先も震災が忘れられないように、桜が町の復興のシンボルになってほしい」と話しました。

一緒に学んだ仲間と思い出づくり 学び舎ゆめの森で卒園児・卒業生の送別会



年長児に記念品を贈る園児ら

卒園・卒業を間近に控えた3月、学び舎ゆめの森で卒園児と卒業生の送別会がそれぞれ開かれました。

認定こども園で3月6日、「入学おめでとう会」が開かれ、園児11人が参加して卒園児との思い出をつくりました。1年間をクイズで振り返ったほか、卒園児と先生らが劇「三びきのやぎのがらがらどん」を披露しました。また、卒園児に記念品が手渡されました。



9年生を囲んで記念撮影に臨む児童生徒

義務教育学校では3月7日、「9年生を送る会」が開かれ、児童生徒22人が参加しました。

会では、卒業する9年生と在校生が、かくれんぼや絵しりとりで交流しました。また、在校生が2月に行った小物販売の売上で購入した花束を卒業生にプレゼントすると、卒業生はお礼に校名が書かれた手作りの缶バッジを在校生に手渡しました。

町内企業が卒業記念品贈呈 エフズファクトリー 下野上のF's Factory



名嘉社長（右）と後藤さん（左）からタンブラーを受け取った生徒

昨年12月に町内下野上地区で操業を開始したF's Factoryが3月7日、学び舎ゆめの森を卒業する9年生に卒業記念品を贈りました。

贈られた記念品は、同社が学び舎ゆめの森の校名と校章、生徒の名前をレーザーで刻んだタンブラーです。同社の名嘉陽一郎社長と後藤祐司さんが来校し、卒業生2人にタンブラーを手渡しました。

名嘉社長は「地元企業として卒業の節目をお祝いできたら。町で学んだ思い出にしてほしい」と話しました。

児童らが花で笑顔届ける ドライフラワーの手作り小物販売



手作りの小物を販売する児童ら

学び舎ゆめの森の児童らが2月29日、町交流施設 linkの大熊前でドライフラワーを使った小物を販売しました。

同校の探求的な学習「未来デザインの時間」の一環。花で町に笑顔を増やそうと活動する1～6年生の児童ら9人は、季節を問わないドライフラワーで作った小物を日常で使うことで笑顔になってもらおうと考え、写真立てやブローチ、キーホルダーなど約60点を手作りしました。児童らは施設前に出店した屋台で元気に接客。商品は30分ほどで完売する人気ぶりでした。

キウイのスイーツ大好評 東京でふくしまスイーツフェスティバル

高校生が考案した福島県の特産品を使ったスイーツが楽しめる「ふくしまスイーツフェスティバル」が2月22日から25日までの4日間、東京都渋谷区の代々木公園で開かれました。イベントは「魚ジャパンフェス2024in代々木公園」、「発見！ふくしまお魚まつり」と同時開催され、連日多くの来場者でにぎわいました。

会場では、大熊町のキウイフルーツ、富岡町のパッションフルーツ、楡葉町のサツマイモをそれぞれ使ったスイーツがキッチンカーで販売されました。商品は、昨年8月の「スイーツ甲子園ふくしまチャレンジカップ」で受賞した高校生が有名スイーツ店のシェフと共同で開発したものです。



キウイのスイーツを味わう来場者ら



レシピを考案した生徒と監修した江森シェフ（右）

大熊町のスイーツは、グリーン、ゴールド、レッドの3種のキウイフルーツを使ったカップスイーツ「パルフェキウイ」。レッドは町内産。グリーンとゴールドは関本元樹さんが避難先の千葉県香取市で栽培したキウイを使用しています。

スイーツのレシピは、キウイ部門で大熊町賞を受賞した宮城県・泉館山高の生徒2人が考案し、2015年ミラノ万博でのスイーツのワールドカップに日本代表として出場し、世界一にもなった神奈川県大和市にあるメゾン・ジヴレーのオーナーパティシエ・江森宏之さんが監修。今年1月に生徒と江森シェフが交流施設linkる大熊で試作を行い、レシピを完成させました。



スイーツをPRする江森シェフと関本さん

スイーツを味わった来場者からは「キウイの味をしっかり感じる」、「甘酸っぱくておいしい」、「キウイとケーキと一緒に食べると味わい深い」などの声が聞かれました。

キウイを提供した関本さんは「スイーツにしたときにキウイの味が生きるよう、収穫後の追熟で甘さを引き出した。品種ごとの良さを感じてもらいたい」と話しました。



行列ができたキッチンカー

監修した江森シェフは「高校生のアイデアと大熊町のキウイを一つにして、パフェ仕立てにした。イベント当日、関本さんにフレッシュなキウイを届けてもらい出来立てが提供できた。心に残るようなデザートに仕上がったので、このスイーツで大熊を知るきっかけや訪れるきっかけが作れたらうれしい」と話しました。



紙面から読み解く町の歴史 公民館報の公開ヒアリング



震災前の公民館について語る鎌田さん（中央）

大熊町公民館報についてのヒアリングが2月14日、大熊町役場で開かれました。

町制施行間もない昭和31（1956）年から発刊された館報にまつわる話を町民から聞いて、震災前の町の様子を記録するため、町と福島大が共同で実施しました。

ヒアリングには、館報の編集委員を務めていた鎌田清衛さんが招かれ、鎌田さんから当時の公民館や町内の様子、出来事などを聞き取りました。

ヒアリングは公開で行われ、約10人の町民らが聴講。メモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

本陣での披露に向けて 町相馬流れ山踊り保存会が練習会



踊りを練習する会員ら

大熊町相馬流れ山踊り保存会は3月11日、大熊町役場で総会を開催し、19人の会員が参加しました。東海林雅子会長は「騎馬武者たちの活躍に花を添えるため、今後も活動を継承させていきたい」と述べました。

また、総会后に練習会を行い、会員らは踊りの所作を丁寧に確認しました。

今年の相馬野馬追は例年より2か月前倒しとなり、5月下旬に開催されます。大熊町相馬流れ山踊り保存会は、双葉町相馬流れ山踊り保存会とともに、南標葉郷として、雲雀ヶ原祭場地で踊りを披露する予定です。

学生が地域課題解決への取組報告 復興知事業大熊町分科会



吉田町長に取り組みを報告する出席者

学生が復興方法を研究する「復興知」事業の大熊町分科会報告会は2月13日、大熊町役場で開かれました。

事業に参加した各大学が、地域課題解決のために町内で取り組んだ内容を吉田淳町長に報告しました。

報告を受けた吉田町長は「町内で学生が活動している姿を目にする機会が増えた。学び舎ゆめの森と連携した活動も実施されており、とてもありがたい」と述べました。

学生が復興政策提言 東北大公共政策大学院の報告会



研究成果を発表する学生ら

東北大公共政策大学院の学生10人が2月19日、長期的復興とまちづくりに関する政策を町に提言しました。

学生らは、約1年かけて研究してきた町の課題とその解決策について吉田淳町長に報告。町の復興に向けて「来てもらう」、「住んでもらう」、「活躍してもらう」、「愛してもらう」の4つに分類した取り組みで町を活性化させ、人々の愛着を育むことが必要だと訴えました。

要望活動

町は機会あるごとに大臣や党中央幹部ら要人への要望を行い、町の実情に沿った支援や緊急を要する対策の実施などを求めています。詳細は町公式サイトでご確認ください。



町公式サイト



山口代表への要望

町は、公明党に対して町の復興・再生に向けた要望を行いました。

3月2日、吉田淳町長が双葉郡を訪れて学び舎ゆめの森などを視察した公明党の山口那津男代表に要望書を手渡しました。



学び舎ゆめの森の視察

<山口代表への要望>

- ① 特定復興再生拠点区域外における取組の具体化
- ② 復興のスタートに立つ大熊町への重点的サポート
- ③ 福島第一原子力発電所の廃炉を担う東京電力への監督・指導
- ④ A L P S 処理水をめぐる責任を持った対応
- ⑤ 中間貯蔵施設の管理や県外最終処分の確実な実施

OIC OKUMA INCUBATION CENTER 大熊インキュベーションセンター

入居者紹介

OIC ってどんなところ? 利用者インタビュー

2022年7月に開所した大熊インキュベーションセンター（OIC）には、現在90社以上の企業が入居しています。大企業から起業準備中の大学生までが入居し、業界・業種もさまざまです。毎日にぎわっているOICの魅力をお伝えするため、OIC 広報担当が公式HP「OIC 入居者紹介」の中から「どのような企業が利用しているのか」「どのような人と会えるのか」などをご紹介します。



OIC 公式 HP

アルサ

入居企業インタビュー 19 社目は、ドローンを活用した事業を展開する株式会社アルサです。ドローンオペレーション企業として、パイロットを育成するドローンスクール運営のほか、ドローンを活用した農薬散布や撮影、点検、調査の業務を受託しています。



同社のドローンスクールは『JUAVIS ドローンワールド』として、航空局より無人航空機講習団体として認定されており、地元の自動車学校などとも提携。講師陣は普段からドローンでさまざまな業務を遂行している経験豊富なパイロットなので、受講者はドローンの使用目的に応じたレッスンを受けることができます。

アルサは OIC に入居し、ドローンを活用する企業との接点を築きたいと語っています。将来的にドローンを活用する企業は増加すると考えられる一方で、機器導入と教育コスト、または飛行の申請からリスクアセスメントを考えた上での費用対効果を考えると外注の方が安心と考える企業は増えるのではないかと予測。

また、ドローンで取得したデータを解析できる企業とのマッチングの場や経営相談の場としても OIC を活用されているとのこと。大熊町や浜通りで活躍する企業がドローンを利用するときの一助になればいいなと語る同社のインタビュー記事をぜひご覧ください。

ドローン技術研究所

次にご紹介するのは株式会社ドローン技術研究所。代表取締役の大川由夫さんにお話を伺いました。



同社はその名の通り、ドローン技術を研究する企業。現在は特にモーターやプロペラなど駆動系に力を注いでいます。こだわりは「国産」の技術をつくること。多くのドローンメーカーが海外製の部品を使用している中、同社は国産ドローンを作るための技術を研究しています。

海外製のドローンは安価で高性能のものが多く、国産が勝つのは一筋縄ではいかない状況です。しかし、将来的に人がいる地域の上空を飛ぶようになるとドローンの信頼性がより重要になります。同社は海外に負けないような性能をもつ国産ドローンの開発に備えて、要素技術の開発を進めているのです。

本社は OIC に登記している同社は、いずれは町内で風力発電事業にも参入したいと考えています。大川さんは、風力で発電したサステナブルな電気でドローンを飛ばすという、地産地消的なサイクルを構築したいと語ります。また、インタビューでは、ドローン技術についても詳しくお聞きすることができました。ぜひ HP をご覧ください！

OIC はどなたでも無料で利用できます。居合わせた人と話したり、本や新聞を読んだりすることができる交流スペースから、静かな場所で作業に集中したいときに利用できるコワーキングスペースまで、さまざまな部屋があります。ぜひお気軽にご来館ください！



げんば だより

今日も町のどこかで再生のつちおと 槌音が響いています。その様子を連載でお伝えします。

問 大熊町役場 企画調整課 地域振興係

⑱愛称は「CREVA おおくま」と「クマSUN テラス」

大野駅西交流エリアにオープンする2施設の愛称がこのほど決まりました。愛称の公募には産業交流施設に165点、商業施設に158点の応募があり、愛称選考委員会による検討等を経て、採用作を決めました。応募してくださった皆さま、ありがとうございました。オープン後は多くの方にこの場所を訪れていただき、親しみをもってこの愛称を使っていたいただきたいと思います。

	産業交流施設	商業施設
愛称	CREVAおおくま	クマSUNテラス
応募者の意図	CREATE（創造する）VALUE（価値）を合わせた造語です。復興への道をよりいっそう力強く進むために大熊町の新たなシンボルとして「町民みんなが誇りを持って真の価値を創造していく」という願いを込めています。また、声に出した時に「来ればおおくま」という響きを持って対外、対内ともに大熊町に来てねというアピールも兼ねてこの名前にしました。	産業交流施設と一体となったみんなのテラスをイメージしました。クマSUNは愛らしい動物の熊さんで大熊のトレードマーク。SUNテラスは太陽が照らすという意味も兼ねています。

2施設は年内に完成し、来年3月にはオープニングセレモニーの開催も予定しています。

産業交流施設は現在、鉄骨を立てる工事の真っ最中で、15mを超える柱が建ち並ぶ様子から、施設完成後の姿をうかがい知ることができます。今後、鉄骨工事と並行して、各階の床となるコンクリートの打設工事も進められます。

一方、商業施設も設計が終了し、今後工事が本格化する見込みです。町の産業に新たな刺激をもたらすとともに、多くの方でにぎわうエリアとなるよう、今後も着実に工事を進めます。



整備が進む大野駅西交流エリア

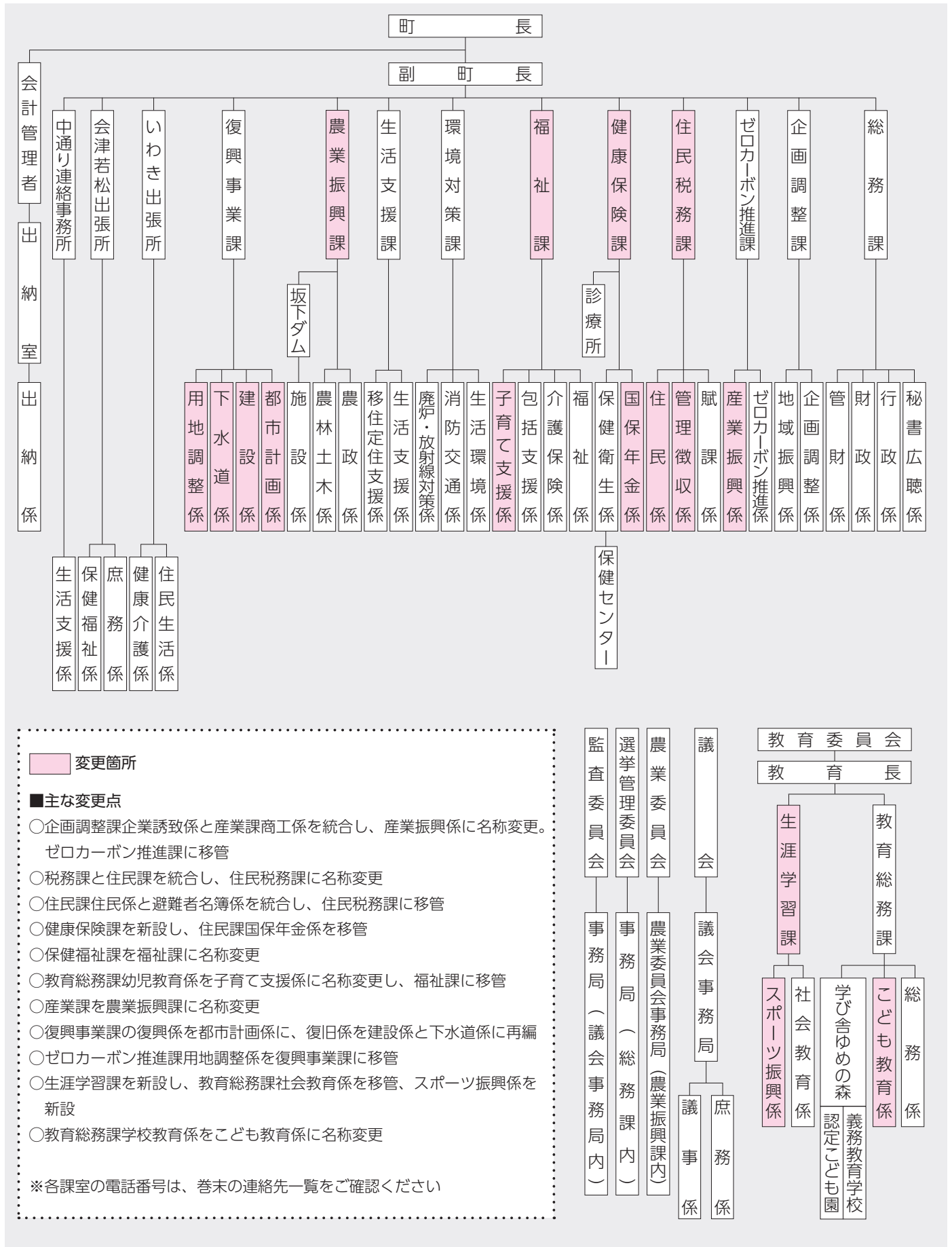


大野駅西交流エリアの完成イメージ

大熊町令和6年度行政組織

問大熊町役場 総務課 行政係

令和6年4月1日からの大熊町行政組織をお知らせします。



【参事職】

- ・総務課長兼いわき出張所長兼会津若松出張所長兼中通り連絡事務所長 谷田希晃(議会事務局)
- ・参事兼住民税務課長 川木正之(参事兼税務課長)
- ・参事 宇庭裕之(東北地方整備局)

【課長相当職】

- ・健康保険課長 工藤誠一(保健福祉課長)
- ・福祉課長 武内洋(教育総務課長)
- ・農業振興課長 澤内和彦(産業課長)
- ・教育総務課長 幾橋みね子(住民課長)
- ・生涯学習課長 菅原祐樹(企画調整課主幹兼課長補佐)
- ・議会事務局長 松本清之(総務課主幹兼課長補佐)
- ・総務課主幹兼課長補佐 宇佐見卓哉(総務課総括主任兼財政係長)
- ・企画調整課主幹兼課長補佐 吉田健一(生活支援課主幹兼課長補佐)
- ・ゼロカーボン推進課主幹兼課長補佐 石田祐一郎(企画調整課主幹兼課長補佐兼企業誘致係長)
- ・住民税務課主幹兼課長補佐 愛場学(税務課主幹兼課長補佐兼徴収係長)
- ・健康保険課主幹兼課長補佐 中藤博之(復興事業課総括主任兼復旧係長)
- ・健康保険課主幹兼統括保健師 澤田裕美子(保健福祉課主幹兼課長補佐兼統括保健師)
- ・福祉課主幹兼課長補佐 岡田雄重(保健福祉課主幹兼課長補佐)
- ・環境対策課主幹兼課長補佐兼廃炉・放射線対策係長 志賀博英(産業課主幹兼課長補佐兼農政係長兼農業委員会事務局次長)
- ・生活支援課主幹兼課長補佐 佐々木崇裕(保健福祉課総括主任兼福祉係長)
- ・農業振興課主幹兼課長補佐兼農政係長兼農業委員会事務局次長 長谷川良平(住民課主幹兼課長補佐兼住民係長兼避難者名簿係長)
- ・復興事業課主幹兼課長補佐兼下水道係長 鈴木修(復興事業課主幹兼課長補佐)
- ・教育総務課主幹兼課長補佐兼子ども教育係長 木幡敦重(教育総務課主幹兼課長補佐兼幼児教育係長)
- ・生涯学習課主幹兼課長補佐兼社会教育係長 風間真由美(教育総務課主幹兼課長補佐兼社会教育係長)
- ・会津若松出張所主幹兼所長補佐 武内一恵(中通り連絡事務所主幹兼所長補佐兼生活支援係長)

【課長補佐相当職】

- ・総務課総括主任兼財政係長 五十嵐研一(出納室総括主任兼出納係長)
- ・総務課総括主任兼管財係長 志賀直貴(保健福祉課主任主査)
- ・ゼロカーボン推進課総括主任兼産業振興係長 賀澤光(企画調整課主任主査)
- ・住民税務課総括主任兼賦課係長 井戸川聖(税務課総括主任兼賦課係長)
- ・住民税務課総括主任兼管理徴収係長 佐久

- 間秀幸(税務課主任主査)
- ・住民税務課総括主任兼住民係長 田邊弘子(いわき出張所主任主査)
- ・健康保険課総括主任兼国保年金係長 植田しのぶ(住民課総括主任兼国保年金係長)
- ・健康保険課総括主任兼保健衛生係長 澤内誠(産業課主任主査)
- ・健康保険課総括主任兼大熊町診療所医療事務係長 志賀堯(税務課総括主任兼管理係長)
- ・福祉課総括主任兼福祉係長 木村晃大(総務課総括主任兼管財係長)
- ・福祉課総括主任兼介護保険係長 志賀知美(保健福祉課総括主任兼介護保険係長)
- ・福祉課総括主任兼包括支援係長兼主任介護支援専門員 大清水沙織(保健福祉課総括主任兼包括支援係長兼主任介護支援専門員)
- ・福祉課総括主任兼子育て支援係長 鈴木龍一(産業課総括主任兼商工係長)
- ・生活支援課総括主任兼生活支援係長 志水千晶(いわき出張所総括主任兼住民生活係長兼健康介護係長)
- ・農業振興課総括主任兼農林土木係長 田辺義雄(産業課総括主任兼農林土木係長)
- ・農業振興課総括主任 鎌田太(産業課総括主任)
- ・復興事業課総括主任兼都市計画係長 白井将(復興事業課総括主任兼復興係長)
- ・復興事業課総括主任兼建設係長 大井力(復興事業課主任主査)
- ・復興事業課総括主任兼用地調整係長 中里良(ゼロカーボン推進課総括主任兼用地調整係長)
- ・復興事業課総括主任 根本晃英(ゼロカーボン推進課総括主任)
- ・復興事業課総括主任 山田義昭(ゼロカーボン推進課総括主任)
- ・出納室総括主任兼出納係長 佐藤由香(保健福祉課主査)
- ・教育総務課総括主任兼総務係長 横山善幸(総務課主任主査)
- ・生涯学習課総括主任兼スポーツ振興係長 喜浦遊(教育総務課主任主査)
- ・いわき出張所総括主任兼住民生活係長 大山梢(保健福祉課総括主任兼大熊町診療所医療事務係長)
- ・いわき出張所総括主任兼健康介護係長 松本一彦(生活支援課総括主任兼生活支援係長)
- ・中通り連絡事務所総括主任兼生活支援係長 鈴木秀和(教育総務課総括主任兼総務係長)

【係長相当職】

- ・ゼロカーボン推進課主任主査 猪狩悠希(企画調整課主任主査)
- ・住民税務課主任主査 古川賢一郎(税務課主任主査)
- ・住民税務課主任主査 富塚彩(住民課主任主査)
- ・農業振興課主任主査 荒木紀幸(環境対策課主任主査)
- ・健康保険課主任保健師 那須留美(保健福祉課主任保健師)
- ・健康保険課主任看護師 秋山真貴子(保健福祉課主任看護師)

- ・福祉課主任主査 野地真知子(保健福祉課主任主査)
- ・福祉課主任主査 石田麻美(総務課主任主査)
- ・復興事業課主任主査 木内潤司(ゼロカーボン推進課主任主査)

【主査相当職】

- ・企画調整課主査 木幡将之(産業課主査)
- ・住民税務課主査 渡邊陽太(税務課主査)
- ・健康保険課主査 井出有生(住民課主査)
- ・健康保険課副主任管理栄養士 林香穂里(保健福祉課副主任管理栄養士)
- ・健康保険課副主任保健師 夏目日向子(保健福祉課副主任保健師)
- ・健康保険課主査 猪狩伊康(保健福祉課主査)
- ・生涯学習課副主任学芸員 芋坪祐樹(教育総務課副主任学芸員)
- ・生涯学習課副主任学芸員 菅井優士(教育総務課副主任学芸員)
- ・生涯学習課主査 石塚義徳(住民課主査)

【主事相当職】

- ・ゼロカーボン推進課主事 石井和磨(産業課主事)
- ・住民税務課主事 草野将輝(税務課主事)
- ・住民税務課主事 井戸川春人(住民課主事)
- ・健康保険課主事 渡邊菜々子(保健福祉課主事)
- ・健康保険課主事 鈴木莉央(住民課主事)
- ・健康保険課看護師 斎藤歩実(保健福祉課看護師)
- ・福祉課主事 市村まどか(保健福祉課主事)
- ・福祉課主事 星野朔(保健福祉課主事)
- ・農業振興課主事 片山知也(産業課主事)
- ・生涯学習課主事 志賀秀一(教育総務課主事)

【新採用】

- ・総務課 三瓶太稀
- ・ゼロカーボン推進課 矢部楓
- ・住民税務課 原田優芽
- ・住民税務課 木幡和子
- ・健康保険課 橋本菜那
- ・福祉課 酒井珠莉
- ・環境対策課 松木怜大
- ・生活支援課 大越加奈
- ・農業振興課 羽根田飛雅
- ・農業振興課 大友昭一
- ・復興事業課 岡田拓斗
- ・復興事業課 菅原勝
- ・教育総務課 菅波恵美
- ・認定子ども園 青田このか
- ・認定子ども園 若松心春
- ・認定子ども園 黒沢静香
- ・認定子ども園 吉田さおり

【役職定年】

- ・総務課長兼いわき出張所長兼中通り連絡事務所長 吉田真之

【退職】

- ・保健福祉課総括主任兼保健衛生係長兼主任保健師 大澤貴志
- ・保健福祉課保健師 齋藤優貴
- ・環境対策課主幹兼課長補佐兼廃炉・放射線対策係長 鈴木裕平

令和6年度（令和7年4月1日付け採用）

大熊町職員採用候補者試験



町公式サイト

試験職種	採用 予定数	資格要件等		試験内容	
		年齢要件	資格	1次試験	2次試験
保育教諭	若干名	昭和60（1985）年 4月2日以降に生まれた方	保育士資格および幼稚園教諭 免許を有するまたは令和7年 3月末までに取得見込み	小論文 試験	口述 試験

■受付期間

4月8日（月）から5月10日（金）までの平日（午前8時30分～午後5時15分）

※郵便による申込書提出の場合は、5月8日（水）までの消印のあるものに限り受け付けます。

■申込方法

- 申込用紙に必要事項を記入して、大熊町役場総務課に提出してください。
- 申込書を郵送する場合は84円切手を貼った自分宛の封筒を同封し、その表に赤で「職員試験申込」と書いて、必ず簡易書留にて送付してください。
- 申込用紙は、町役場2階総務課または各出張所で交付を受けるか、町公式サイトからダウンロードしてください。
- 試験についての詳細な内容は、町公式サイトをご覧ください。

■試験日

5月30日（木）

■会場

大熊町役場（大熊町大川原南平 1717）

問 大熊町役場 総務課

■募集予定

募集職種	募集期間	試験日
一般事務 (大卒程度)	5月中旬～ 6月中旬	7月14日（日）
一般事務 (高卒程度)	7月中旬 ） 8月中旬	9月22日（日）
土木職 (高卒程度)		
一般事務 (社会人経験者)	8月中旬 ） 9月中旬	10月下旬
資格免許職 (土木)		
資格免許職 (介護支援専門員)		
資格免許職 (保健師)		

住民意向調査結果

— 2年ぶり調査実施、帰還に前向きな回答過去最高 —

問 大熊町役場 企画調整課 企画調整係

昨年10月から11月にかけて調査実施した大熊町住民意向調査結果の速報版が、2月27日に公表されました。速報版の冊子を今月号の広報おおくまに同封しましたのでその一部を紹介します。

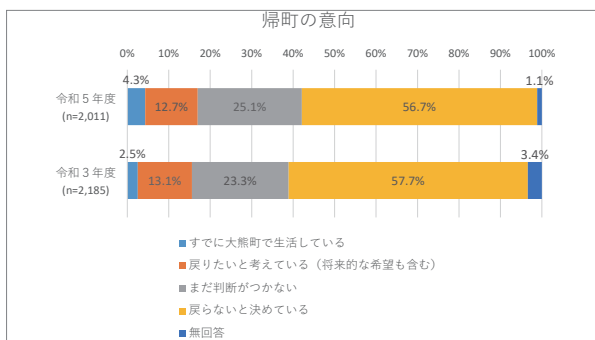
結果は詳細に分析し、各種施策に活用させていただきます。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

今回同封の速報版に掲載のない設問や、居住地域別等の詳細な調査結果については、今後発表予定の詳細版報告書をお待ちください。

■帰町の意向

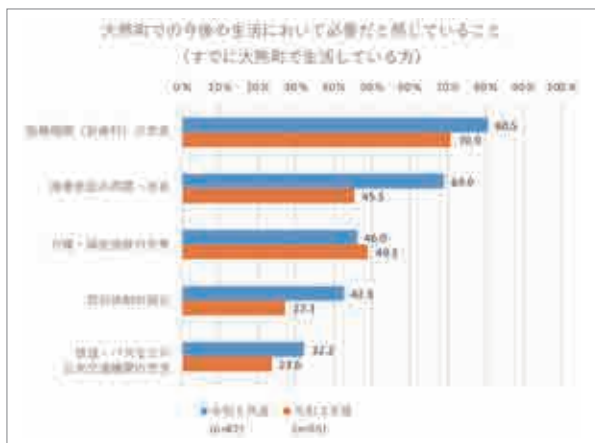
「すでに大熊町で生活している」と「戻りたいと考えている」を合わせた帰町意向のある方の割合は、17.0%（前回より1.4ポイント増）と、平成24年の調査開始以来、最も高い数値となっています。

帰町意向のある方の割合が増えた背景には、「戻らないと決めている」方の回答率の低下も影響していると考えられます。それでも、全体の回答者数が減った中で「すでに大熊町で生活している」と答えた方は87人と、前回55人から32人増加しており、避難指示の解除、生活環境の整備等により、大熊町内で生活することを選択される方の増加傾向があらわれています。



■今後の生活において必要だと感じていること

「すでに大熊町で生活している」方の間で、今後の生活において必要だと感じていることに、80.5%（8.4ポイント増）と大部分の方が「医療機関（診療科）の充実」をあげています。また前回から大きく増加している項目に「商業施設の再開・充実」69.0%（23.5ポイント増）、「防犯体制の強化」42.5%（15.2ポイント増）があります。実際に大熊町内で生活することで、より強く必要性を感じられていることと思われます。



これらの項目は「戻りたいと考えている」方の間でも、上位に位置付けられています。

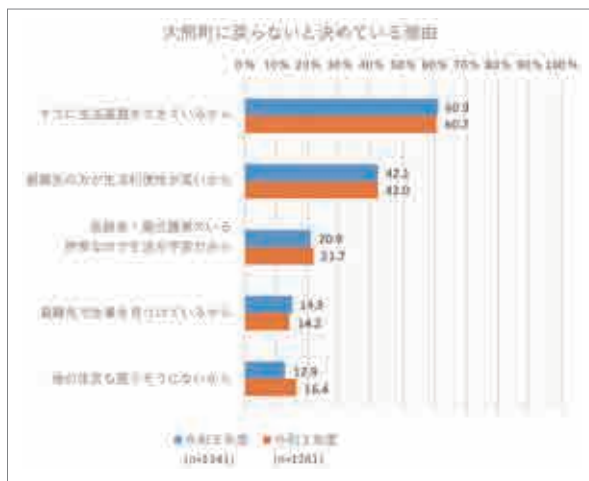
これらの項目を含めた生活環境の今後の整備予定に係る各施策については、令和6年1月策定の第三次復興計画をご参照ください。計画は町ホームページで公開しているほか、策定時点で大熊町に住民票のある世帯あてに、製本した冊子をお送りしています。



■大熊町に戻らないと決めている理由

回答者の半数以上（56.7%）を占める「戻らないと決めている」方に、その理由を伺った項目では、多くの方が、今後の生活に関わる項目をあげられています。

大熊町では、帰町意向に関わらず、町外で暮らす町民と町との間のつながりを維持する取組を検討するとともに、広報紙等により町内の復興状況や生活環境、各種イベント情報等を継続的に発信します。また、町外に住んでいる人が一時的に帰町するきっかけとなるような交流機会づくりに取り組みます。



●調査の概要

- 実施主体：復興庁、福島県、大熊町
- 調査方法：郵送配布、郵送回収
- 調査対象：世帯の代表者（5,139世帯）
- 回答者数：2,011世帯
- 調査時期：令和5年10月16日～11月5日
- 回収率：39.1%（前回42.6%）



環境省からのお知らせ 大熊町内の各仮置場から除去土壌等を 中間貯蔵施設へ輸送します

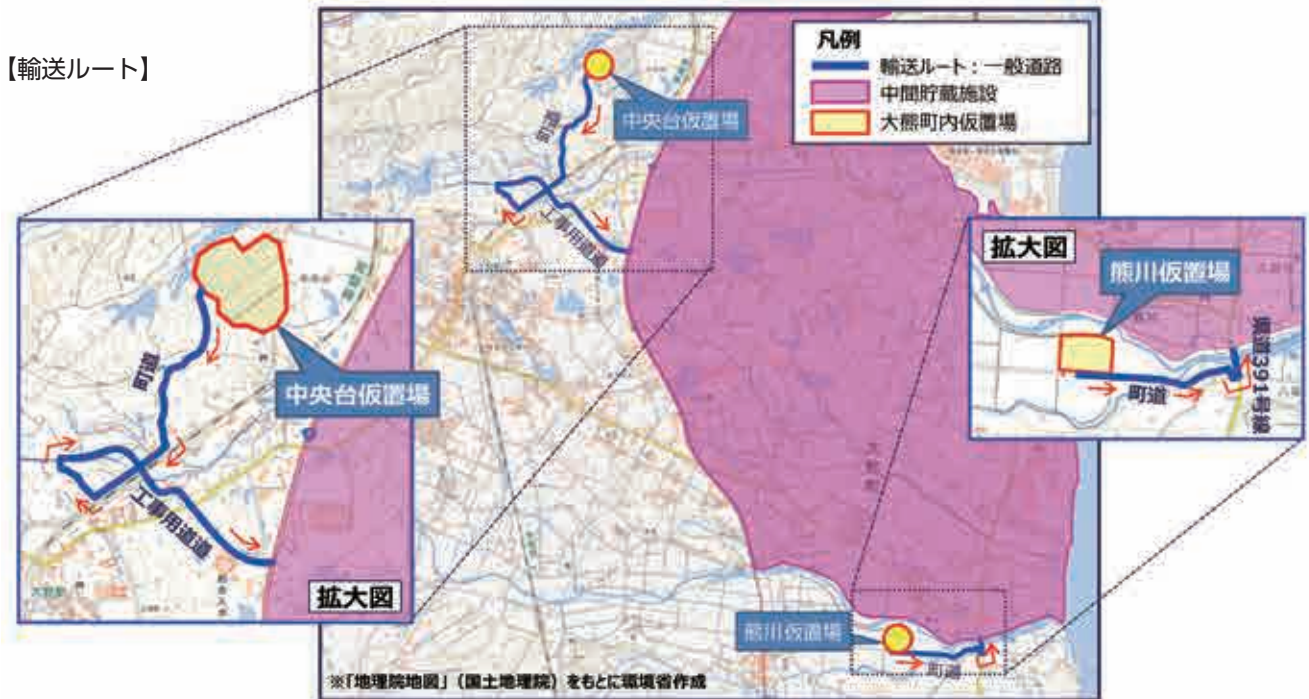
問 環境省「除染と中間貯蔵施設に関するお問い合わせ窓口」
フリーダイヤル ☎ 0120-027-582
(受付時間 午前9時30分～午後6時15分※日・祝日除く)

2024年度は町内の仮置場から中間貯蔵施設へ40,000㎡程度の除去土壌等を輸送する予定です(天候や道路交通等の状況により、輸送期間が変更されることがあります)。

【1日の基本的な作業の流れ】

- ・輸送時間……午前8時～午後8時(交通状況等により、延長の可能性あります。)
 - ・輸送車両……大型車両(10tダンプトラック)5～10台程度で、1日5回輸送します。
- ※天候や道路交通等の状況、作業の進捗状況により変更の可能性あります。
※原則として、日曜日、お盆お彼岸と年末年始期間は輸送を実施しません。

輸送車両には、除去土壌等を輸送していることを明示する表示を行います。また、輸送車両が中間貯蔵施設から退出する前には車両表面の放射線量を測定(スクリーニング)し、基準値以上であれば洗浄等を行い、周辺道路等の汚染の防止を徹底します。



中間貯蔵施設見学

中間貯蔵施設工事センターは工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。
時 4月19日(金)、20日(土)

避難指示解除区域における固定資産課税台帳の縦覧と閲覧ができます

問 大熊町役場 住民税務課 賦課係

避難指示解除区域（中屋敷、大川原地区と特定復興再生拠点区域）における令和6年度の土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧と固定資産課税台帳の写しの交付期間は、4月1日から5月31日までです（土日祝日は除きます）。

※帰還困難区域は、課税免除のため対象外です。

■土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧制度

納税者の方が、他の土地・家屋の価格との比較を通じて自分の固定資産の評価が適正であるかどうかを判断できるように、縦覧帳簿により必要な範囲内に限り町内（課税免除区域を除く）の土地・家屋の価格等を見ることができます。

- ①縦覧できる書類 ・土地価格等縦覧帳簿
・家屋価格等縦覧帳簿

※所有者の住所、氏名等は記載されていません。また、縦覧帳簿の写しは交付しません。

■固定資産課税台帳の閲覧制度

縦覧期間中、納税者本人は自分の固定資産について、固定資産課税台帳（写し）の交付を無料で受けることができます。代理人が申請する場合は委任状が必要です。

②縦覧できる人の範囲

- <土地> 避難指示解除区域（中屋敷、大川原地区と特定復興再生拠点区域）に所在する土地に対して固定資産税が課税されている納税者またはその代理人（代理人の場合は委任状が必要です）
<家屋> 避難指示解除区域（中屋敷、大川原地区と特定復興再生拠点区域）に所在する家屋に対して固定資産税が課税されている納税者またはその代理人（代理人の場合は委任状が必要です）

大熊町に居住する 高校生の通学費を助成します

問 大熊町役場 教育総務課 総務係

通学費助成制度は、町内から高等学校等に通学する者の通学費を助成することにより、就学に係る教育費の軽減を図ることを目的とするものです。

対 大熊町に住所を有し、かつ、町内に居住し、高等学校等（公立・私立の高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程）に通うため、電車やバス等の公共交通機関を使って通学する高校生。

期 4月1日（月）～令和7年3月31日（月）

■助成額

定期券の購入にかかった適正な費用の実費分を助成します。

■必要書類

- ①大熊町高等学校等通学費助成金交付申請書
②購入した定期券の写し
③生徒手帳の写し、合格通知書の写しまたは在学証明書



大熊町文化・スポーツ大会出場者激励金を 交付しています

問 大熊町役場 生涯学習課 スポーツ振興係

町は、町民の文化およびスポーツ活動の振興のため、県代表等としてアマチュア大会に出場する個人に大熊町文化・スポーツ大会出場者激励金を交付しています。

■交付対象となる大会

次の条件をすべて満たしている文化およびスポーツの大会です。

- ・国、地方公共団体、公益財団法人等が主催・共催・後援または主管する大会またはそれに準ずる大会
- ・地方ブロック大会以上の大会

対 主催者が定める出場条件と、次の条件のいずれかを満たす方

- ・大熊町に住所を有する方
- ・大熊町に活動の本拠がある方
- ・上記2点のほか、町長が特に認める方

■激励金の額 10,000円/回

■交付制限

- ・同一年度中、1人につき3回まで
- ・大会開催前の申請に限る

■交付申請

交付申請をされる方は、生涯学習課スポーツ振興係へご連絡いただくか、町公式サイトから申請書をダウンロードし申請してください。



基盤整備工事に伴う通行止め箇所について（4月）

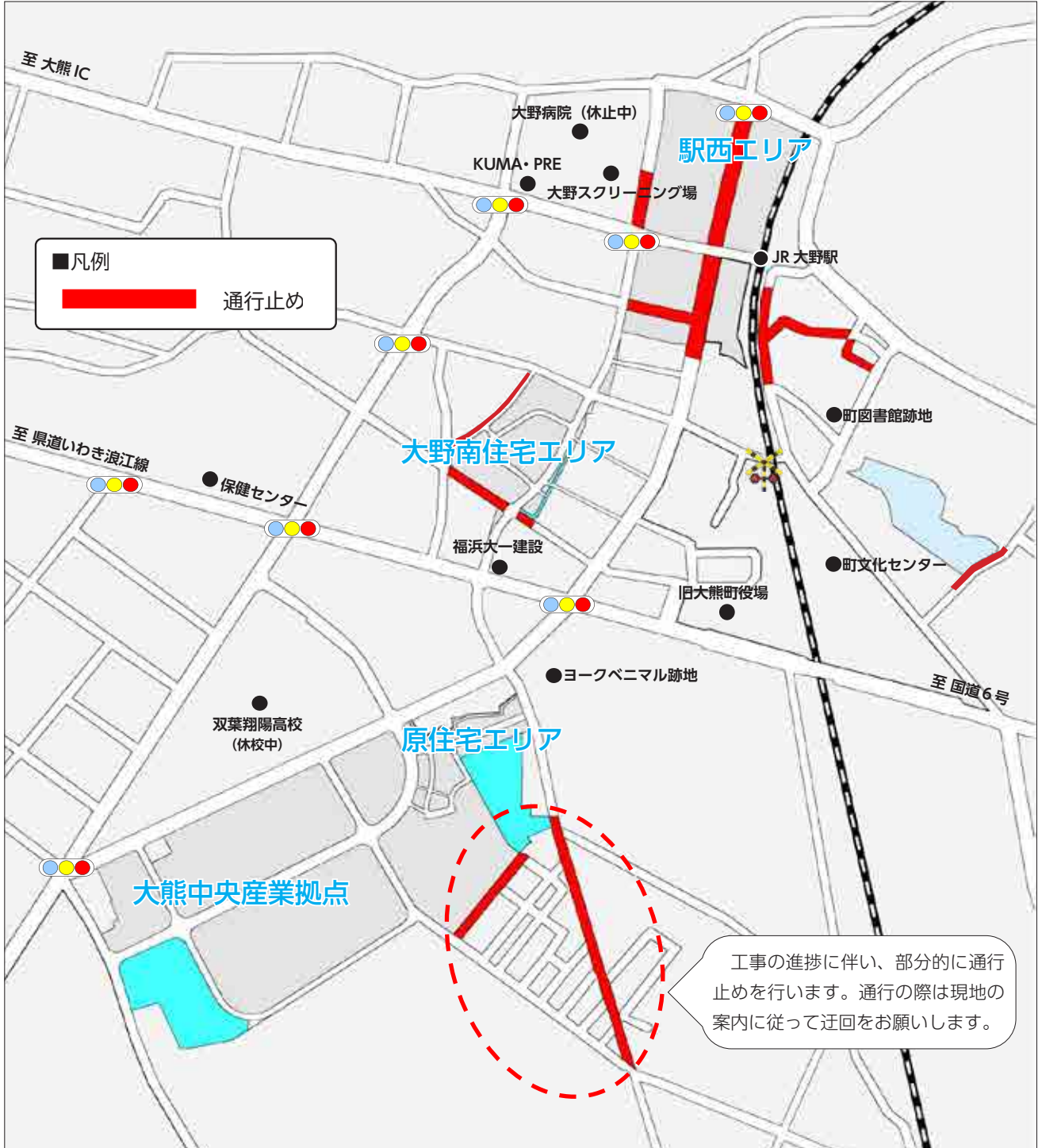
問 UR 都市機構 東北震災復興支援本部 大熊復興支援事務所

☎ 0246-38-8127

大熊町役場 復興事業課 建設係

下野上地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設事業の基盤整備工事および道路等工事のため通行止めを行っています。通行の際は現地の案内看板等をご確認願います。

■ 4月の通行止め箇所図



※図の交通規制の他にも片側交互通行が発生する場合があります。

福島県防災アプリが完成しました！

問 福島県危機管理課 ☎024-521-8651

県は、県民の皆さんが災害に備え、災害情報や防災情報を入手し、迅速な避難行動につながるよう、「福島県防災アプリ」を制作しました！

各種防災情報のお知らせ、防災マップの閲覧、避難所の検索、安否登録・確認、避難計画（マイ避難シート）の作成などのさまざまな機能があります！

「福島県防災アプリ」をダウンロードして、日頃から災害に備えましょう！



■ダウンロード方法 Webで「福島県防災アプリ」と検索またはQRから▶

令和5年度県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」 ここから調査の回答のお願い

福島県立医科大学では、対象となる方へ令和6年2月上旬から調査票をお送りし、令和5年度のここから調査を実施しています。

8月末日までにご回答いただいた方には、ご自身のこころの健康度や生活習慣の状況、昨年度との比較、項目ごとのアドバイスを記載した個人結果通知書をお渡しします。

普段の生活では気づきにくい「こころ」や「からだ」の変化をチェックする機会にもなりますので、まだお済みでない方は、ここから調査への回答をお願いします。

対 令和5年4月1日現在住民登録のある方等

■回答方法と受付時期

・郵送での回答 随時

・オンライン（スマホ・パソコン）での回答 4月末まで

問 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

☎024-549-5170

午前9時～午後5時（土日祝・年末年始を除く）

調査票

個人結果通知書（令和4年度調査の例）

町交流ゾーンから 2024年4月のお知らせ

linkる大熊

■おおくま CINEMO (定期映画鑑賞会&交流会)

SDGsのテーマに沿った映画鑑賞会 & 交流会のご案内。

【4月の上映会】

内「プラスチックの海」

海が、プラスチックで溢れている。 私たちには何ができるのだろうか。

時 4月21日(日) 午前10時～午後0時15分

4月24日(水) 午後6時30分～8時45分

場 多目的ホール 定先着 30人

料 大人 500円、小中学生 300円、

未就学児無料

お申し込みは QRコードまたはお電話で



■無料オンラインフィットネス (場多目的ホール)

画面のインストラクターを見ながらのフィットネスレッスンです。マイペースでも大丈夫です！運動する楽しみを体験・体感してください！

①内ヨガ

時 4月4日、18日(木) 午後6時～6時50分

②内シナプロジーと健康体操

時 4月26日(金) 午前10時30分～11時20分

<共通>

定先着 10人 料無料 持室内シューズ・ドリンク・タオル

※ホールの予約により中止になる場合がございます。

※参加ご希望の方はお問い合わせください。

■グループ・ワーク・アウトレッスン

瘦せたい・体力をつけたい・体質改善したい方など講師と一緒にワークアウトレッスンで健康ライフ！！

内健康運動指導士の講師を招いてワークアウトレッスン

時 4月11日、25日(木) 午後6時15分～7時15分

場 多目的ホール

料 運動スタジオ会員かつ ONDIARY 登録者・60歳以上⇒無料、運動スタジオ会員のみ登録者⇒100円、その他の方⇒200円

持 上履き・タオル・動きやすい服装・飲み物

■第8回料理教室

町内在住の池田未帆さんを講師に迎えて、デコレーションケーキを作ります。作られたケーキは、持ち帰りできます。

内デコレーションケーキ作り 講池田未帆さん

時 4月13日(土) 午後1時～4時(受付開始12時30分)

場 クッキングスタジオ

定先着 12人 料700円(材料費) 期 4月10日(水)

持エプロン・バンダナ・飲み物・ハンカチ

※参加ご希望の方はお問い合わせください。

■大熊町交流ゾーンゴールデンウィークイベント

交流ゾーンのオープン以来初めて、ゴールデンウィークに老若男女が楽しめるイベントを開催します。

①時 4月27日(土) 午前11時～午後4時

内クラシックコンサート&キッチンカー

演奏：リジョイス企画合同会社

キッチンカーが数台

②時 4月28日(日) 午後4時～6時

内ジャズコンサート(飲食(アルコール含む)をしながら楽しめます)

演奏：いわきジャズオーケストラ

③時 5月3日(金・祝) 午後1～4時

内太鼓イベント(体験コーナー有)

演奏：葛西啓之さん、双葉郡内の一部太鼓集団

④時 5月5日(日・祝) 午前10時～午後4時

内こどもの日コンサート&お子さんが遊ぶイベント等

演奏：レインボーミュージッククラブ

<共通>

*時間は、都合により変更になる場合があります。

場 大熊町交流ゾーンイベント広場 料コンサート無料

主 大熊町交流ゾーン指定管理者(株)サンアメニティ

問 linkる大熊 ☎0240-23-7676

ほっと大熊

○ポイントカード(日帰り入浴1回1ポイント)

・10点で日帰り入浴が1回無料

・今月のポイント2倍デーは4月26日(金)

■変わり湯

・4月1日(月) コラーゲン風呂

・4月7日(日)・8日(月)

さくらの香り湯

・4月11日(木) 「メンズデー」高麗人参の香り湯

・4月15日(月) 乳酸菌風呂

・4月18日(木) 「レディースデー」金木犀の香り湯

・4月22日(月) 4月の季節風呂 どくだみの香り湯

・4月27日(土) 火龍湯(男湯)・発汗湯(女湯)

・4月28日(日) ビールの香り湯(男湯)

ワインの香り湯(女湯)

・4月29日(月・祝)

ひのきの香り湯(男湯)

花風呂(女湯)

・4月30日(火) はちみつの香り湯

■整体無料サービス(毎月第1・3金曜日)

時 4月5日(金)、19日(金) 午後5時～

定 1日あたり先着6人(要予約) 料無料

■マッサージ無料サービス(毎月第2・4火曜日)

時 4月9日(火)、23日(火) 午前10時30分～

定 1日あたり先着5人(要予約) 料無料

■大浴場メンテナンス清掃日(毎月第4水曜日)

時 4月24日(水) 午後2時から日帰り入浴できます

問 ほっと大熊 ☎0240-23-5767

おおくままちづくり公社から

問 おおくままちづくり公社

☎ 0240-23-7101 (平日午前9時～午後5時)

不動産利活用登録募集

おおくままちづくり公社は、町から委託を受けて町内の不動産利活用支援事業を実施しています。

町内の不動産利活用希望者のニーズとして、産業立地や、学び舎ゆめの森の開校により賃貸の戸建て住宅の需要が高まっています。所有する不動産を売りたい・貸したい方、登録されている不動産の利用を希望される方は、当公社に相談ください。

なお、登録により売買・賃貸契約の成立が確約されるわけではありませんので、ご了承ください。

■交渉申込実績 (令和6年2月)

居住(売買)0件、工事事務所(賃貸)0件、太陽光(賃貸)0件、農業(売買)0件、倉庫(賃貸)1件

■アットホーム掲載物件 (令和6年2月現在)

- ・売戸建物件 4棟
- ・売地物件 60件
- ・貸地物件 27件

詳細については、アットホーム 空き家バンク 参画 自治体ページをご参照ください。



帰忘郷販売

2023年に大川原で育てた酒米を使用した日本酒が3月11日(月)に販売されました。

ふるさとへの想いや会津への感謝の想いがつまったお酒です。

■販売場所

おおくままちづくり公社窓口、ほっと大熊、ニューヤマザキ デイリーストアー 大熊町大川原店、ほか公式サイトからもご注文いただけます。

■公社 EC サイト okuma store △ (ookuma.base.shop)



地域おこし型復興支援員を募集します

町では復興を加速させるための新しい人材を必要としており、町の未来を一緒につくっていただける方2人を今回「地域おこし型復興支援員」として募集します。課題に挑戦することを楽しめる方のご応募をお待ちしています！

■募集職種

1. 町民交流イベントの企画・実施担当
2. 特産品の企画・開発プランナー (ネクサスファームおおくま勤務)

詳しくは、まちづくり公社ホームページをご覧ください。
<https://www.okuma-machizukuri.or.jp/20221025161947>



大熊町でお仕事を探している方のために「企業見学」を開催します

■ F's Factory 株式会社

製造(正社員・パート)／総務・経理(正社員)／営業(正社員)

■株式会社バトン

自治体の委託事務(契約社員)／地方創生プロジェクトのプレイングマネージャー(正社員)

■一般社団法人おおくままちづくり公社

コミュニティ企画担当(契約社員)

■株式会社ネクサスファームおおくま

企画・開発プランナー(契約社員)

時 希望に応じて調整

内 職場の見学や事業の説明(2時間程度)

※リクルーターが駅まで送迎、同行。希望に応じて町内の見学も行います。

※開始時間、終了時間はご希望に合わせて調整します。

★求人の詳細はこちらの企業のリンク先を参照



大熊町観光協会から

問 大熊町観光協会事務局 (おおくままちづくり公社)

☎ 0240-23-7101 (平日午前9時～午後5時)

新しい会員を募集します

大熊町観光協会は、震災以降活動を休止していましたが、昨年6月に活動を再開しました。当協会では正会員と賛助会員を募集しています。希望される個人または団体の方は、大熊町観光協会事務局までご連絡ください。

春の全国交通安全運動の期間が始まります

問 大熊町役場 環境対策課 消防交通係

■運動期間

4月6日(土)から4月15日(月)までの10日間
交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(水)

■運動のスローガン

挙げる手を やさしく見守る 横断歩道

■年間スローガン

わたります 止まるやさしさ ありがとう

■運動の重点

- (1)こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- (2)歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- (3)自転車・特定小型原動機付自転車等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

おおくまふるさと塾

「町内古跡めぐり」を開催します

生涯学習団体「おおくまふるさと塾」では定期的に町内の歴史や文化を知れる場を散策し、多くの方々に大熊の魅力を感じてもらいイベントを開催します。初回は大野駅周辺を散策します。ご興味のある方はぜひご参加ください。

時 5月11日(土) 午前10時～午後3時(予定)

※昼食各自持参

定 10人程度(ふるさと塾員除く)

期 5月8日(水)

申 必要。生涯学習課社会教育係にお電話ください。

■散策場所

大野駅、大野公園など※移動は徒歩

■集合場所

大野駅東口

■その他

今後毎月第2土曜日を目安に開催を予定しています。

ファッションセンターしまむら原町店
おおくま出張販売を開催します

問 ゼロカーボン推進課 産業振興係

昨年に引き続き、出張販売を開催します。春に向けた季節商品も準備していますので、ぜひ、お越しください。皆さまのご来場をお待ちしています。

時 4月8日(月) 午前11時30分～午後4時

場 linkる大熊 多目的ホール

おおくま国際交流協会
一緒に活動しませんか

問 おおくま国際交流協会事務局(生涯学習課内)

☎ 0240-23-7194

■新規会員募集中です

おおくま国際交流協会は平成3(1991)年に設立され、姉妹都市であるオーストラリア・バサースト市の皆さんとの交流やイベント出店等を通じて、楽しみながら町民と世界をつなぐ活動を続けてきました。

町民の方であれば、年齢性別国籍問わず、どなたでも入会できます。会員は随時募集しています。海外に関心がある方、国際交流を通じて町とのつながりを維持したい方など、興味がある方はぜひ、事務局までお問い合わせください。

■会費

個人会員：1人2,000円/年間

■申込方法および提出先

指定の申込用紙に必要事項を記入し、持参または郵送、メールのいずれかの方法で提出してください。

申込用紙は町HPからダウンロードまたは、大熊町役場、いわき出張所、会津若松出張所、中通り連絡事務所に備え付けています。



■提出先

メール shogaigakusyu@town.okuma.fukushima.jp

郵送 大熊町大字大川原南平1717

FAX 0240-23-7846

大熊町民トレッキングを
葛尾村の五十人山で開催します

問 大熊町役場 生涯学習課 スポーツ振興係

町民の健康維持と交流促進を目的に、県立公園五十人山(葛尾村)を散策します。事前申し込み制となりますので、申し込み先までご連絡ください。山頂から見える吾妻連峰から太平洋までの素晴らしい眺望を一緒に楽しみましょう。

時 5月17日(金) 小雨決行

受付開始 午前9時～

トレッキング開始 午前9時45分(予定)

場 県立公園五十人山(葛尾村)

葛尾村健康増進センター駐車場 集合・受付
(葛尾村落合字菅ノ又14-2)

■費 無料

申 事前申し込み。4月30日(火)までに生涯学習課スポーツ振興係まで電話またはメールでご連絡ください。

☎ 0240-23-7518

メール kyoikusoumu@town.okuma.fukushima.jp

■その他

当日は現地集合、解散となります。

**文科省 ADR センター
(原子力損害賠償紛争解決センター) を
ご存知ですか？**

ADRセンターは、**原発事故による東京電力への損害賠償請求**について、和解の仲介を行っています。
ぜひご活用ください。

★和解された事例の一つを紹介します

大熊町から避難した申立人3名(未成年を含まない)と亡母(申立人が相続)について、日常生活慰謝料、過酷避難慰謝料等の賠償の他に以下の賠償が認められた事例。

- ・墓地移転費用 486万円(直接請求手続における既払金150万円をここから控除)
 - ・家族別離による日常生活慰謝料の増額分として月額1万円
 - ・亡母がパーキンソン病を患いながら避難したことを考慮して日常生活慰謝料の増額分として**月額3万円～4万円**
- 和解合計金額 1433万円
(既払金をここから控除)



【公表番号 1964・令和5年5月28日】

※紹介した和解事例は、申立人の**個別事情に基づいた和解事例**であり、一般的に適用される基準ではありません。

- 東京電力の賠償額に納得できない、東京電力から賠償されない方なども含め、**どなたでも利用可能**です。
- 東京電力とは全く別の**中立・公正な国の機関**です。

問 原子力損害賠償紛争解決センター

☎0120-377-155

(年末年始を除く平日午前10時～午後5時)

※県内に以下の事務所があります。

- ・福島事務所(郡山市)・県北支所(福島市)
- ・会津支所(会津若松市)・相双支所(南相馬市)
- ・いわき支所(いわき市)

「東電福島原発事故の賠償請求について、一緒に確認しませんか？」～動画を作成しましたので、ぜひご覧ください～



ADRセンターの
ウェブサイト



和解事例



※申立てフォーマット(Excel形式)をウェブサイトに掲載しました。

福島広域雇用促進支援協議会から

問 福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口

☎024-524-2121 WEB「働きたいネット」で検索

■就職相談

内 「就活って何から始めればいいのかわからない」、「自分に合う求人を見つけられない」、「働きながら転職活動ができるか不安」、「定年後も元気なうちは働きたい」
こんなあなたの就職・転職の悩みを一緒に解決していきましょう！

まずはご相談ください。

【利用無料・若者からシニアまでOK】

☎0120-810-650

受付時間 平日午前9時～正午、午後1時～4時30分

メール ホームページ(<https://fkkyouyou.net/>)の専用フォームから24時間受付中

窓口・オンライン

※予約制(フリーダイヤルまたは専用フォームからお問い合わせください)



■【求職者向け】職場体験実習 参加者大募集！

内 応募する前にまずは体験したい方！仕事のプランクがあつて就職活動に不安がある方！未経験の職種にチャレンジしてみたい方！実際の職場で就業体験できるチャンスです！

仕事の内容を知ると、働くイメージがわきます！ぜひお気軽にお問い合わせください。

■お申し込み随時受付中！

- ・体験期間 1～3日
- ・体験先 職場体験実習登録事業所
- ・参加方法 ホームページから申し込み
詳細はホームページをご覧ください。



消防署から

問 富岡消防署 予防係 ☎0240-22-2119

火災に備えて住宅用消火器の設置をおすすめします。

住宅用消火器とは？

一般住宅で使用しやすいように開発された消火器のことで、ホースが無いものもあり、軽量です。
様々なデザインのものがあり、家庭になじみやすくなっています。また、消火薬剤の詰め替えや、消火器内部の点検は不要となります。

※使用期限があるので、定期的な交換は必要です。

**新年度を迎えたこの時期に住宅の防火対策を
もう一度見直してみましよう。**

教えて いきいきライフ

知りたい！認知症①

Q. 日本には認知症の人がどのくらいいるでしょう？

A. 2012年の厚労省調査では、認知症の人は460万人、2025年には730万人になると見込まれていて、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になる予測が立てられています。

認知症はだれもがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを含め、多くの人にとって身近なものとなってきています。

認知症の人が、尊厳と希望を持って認知症とともに生きる、また、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる「共生」社会の実現が求められています。

自分ひとりでは不安だなあ...
そんな時でも安心してくらするために

～成年後見制度～

知的障がい・精神障がい・認知症などによって、一人で決めることに不安や心配な人が、いろいろな契約や手続きをする際に、同じ地域に暮らすさまざまな人がつながってご本人の思いを分かち合い、共に考え、お手伝いする制度です。

問 大熊町役場 福祉課 包括支援係

☎ 0240-23-7238

これどんな介護サービス？

～訪問介護～

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の自宅を訪問し、食事・排せつ・入浴などの介護（身体介護）や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）をします。通院などを目的とした乗車・移送・降車の介助サービスを提供する事業所もあります。

一緒に歩こう！ ノルディックウォーキング

内 ノルディックウォーキング

時 4月17日（水）午前10時から11時30分

定 20人

持 運動できる動きやすい服装

場 linkる大熊前

申 大熊町役場 福祉課 介護保険係

☎ 0240-23-7226

ノルディックウォーキングとは？

2本のポールを使って歩く「ノルディック・ウォーク（ウォーキング）」は、単純なウォーキングよりも高い運動効果を得られます。ポールで体を支えるため、足腰に不安がある人でも軽い負担でおこなえるのが魅力です。



フレイル予防

- ・たくさん食べて（バランスのとれた食事を3食とる）
- ・たくさん出かけて（趣味、ボランティア、就労による外出）
- ・たくさん笑いましょう（「笑い」でこころを軽やかに）



通いの場のご紹介

各団体のお問い合わせは、大熊町役場保健福祉課介護保険係までお願いします。

なお、参加費がかかる場合や、開催場所、内容など一部変更となる場合がありますので、参加される場合は、事前にご確認ください。

NO.	団体名	開催地域	主な開催場所	開催日	開催時間	主な内容
1	脳若がえる教室	いわき市	いわき出張所	木曜日（月2回）	午前10時～正午	運防
2	大熊町南平手芸サロン	町内	市川宅	第1火曜日	午前10時～正午	運レ趣ホ
3	古滝屋温泉日帰りお茶会	いわき市	古滝屋温泉	第3水曜日	午前11時～ 午後3時	運レ趣ホ
4	にこにこフレッシュ会	いわき市	鹿島公民館	第2、4月曜日	午前10時～正午	運レ
5	武扇 ひまわり会	いわき市	JA 好間支店	第1、4金曜日	午後1時～3時	運趣
6	武扇 はまなす会	いわき市	好間公民館	第1、3火曜日	午前10時～正午	運趣
7	武扇 紅華会	いわき市	J A好間支店	第1、4金曜日	午前10～正午	レ趣
8	武扇 なかよし会	郡山市	中通り連絡事務所	木曜日（月2回）	午後1時～3時	運レ趣ホ
9	醍醐の会 はまなす	いわき市	若葉台集会所	第1、2、3金曜日	午前10時～正午	運趣
10	会津スマイル会	会津	県営白虎団地集会所	第2、4金曜日	午前10時～正午	運料
11	こっとんくらぶ	いわき市	鹿島公民館	第4木曜日	午前9時30分～ 正午	運趣
12	おおがわら囲碁愛好会	町内	渡辺邸	毎週日曜日 (第1日曜日休み)	午前9時30分～ 正午	趣
13	いわき地区グラウンドゴルフ・ パークゴルフ愛好会	広野町	二ツ沼総合公園	グ：月初め水曜日 パ：月最後水曜日	受付8時30分 (開始9時)	運
14	ニューススポーツ推進クラブ	町内	住民福祉センター	毎週金曜日	午前9時30分～ 正午	運レ趣ホ
15	大熊ボランティアたんぽぽ	郡山市	中通り連絡事務所	毎週火曜日	午前10時～ 午後3時	趣ホ
16	趣味とボランティアサークル さくら会	いわき市	J A好間支店または 根本邸	第3、4水曜日	午前10時～ 午後3時	趣ホ

主な活動：運運動、レレクリエーション、趣趣味活動、ホボランティア活動、防老化防止、料料理教室

「通いの場」って何だろう？①

通いの場とは、地域の住民同士が気軽に集い、一緒に活動内容を企画し、ふれあいを通して「生きがいづくり」、「仲間づくり」の輪を広げる場所です。

どうして通いの場が必要なのでしょう？

地域の高齢者が毎日をいきいきと健康に過ごすための場所である「通いの場」は、介護予防・認知症予防にもつながる重要な取り組みとして推進されています。

そもそも介護予防とは、要介護状態等の予防や軽減、悪化の防止を目的として行うものです。日常生活において「運動」、「栄養」、「社会参加」の三本柱を意識していくことが大切となりますが、普段から通いの場に通うことにより、人と交流する「社会参加」の機会になるとともに、自宅から通いの場まで歩いて行くこと自体が日々の「運動」につながることを期待されています。



厚生労働省

「通いの場」



教えて ヘルシーライフ

◆◆◆ あなたの“習慣”が未来を変える ◆◆◆

本当にまだ大丈夫?

少し高い結果があるけど忙しいし、ま、ちょっとくらい問題ないか

△腹囲、△血圧
○血糖(基準値内) 40代

健診だと血圧が高くなるんだよな。血糖?別に痛くないし、痛くなったら病院に行けばいいや

60代前半

▲腹囲、▲血圧、
▲血糖+心電図異常

なんか変だな…気のせいかな。疲れやすい気がする?年のせいかな…?

60代後半

手足のしびれがある見えづらさを感じる

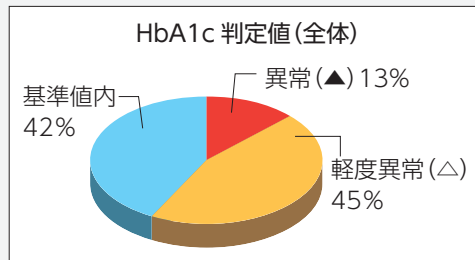
透析!? なんてこんなことに…

70代

悪化
心筋梗塞!
脳梗塞!!
人工透析!

今年度のヘルシーライフでは、誰もがなる可能性のある“糖尿病”についてお伝えしていきます。

大熊町令和5年度総合健診の結果では、受診者の半数以上の52.0%がHbA1c(ヘモグロビン エーワンシー)について“異常”や“軽度異常”に当てはまりました。HbA1cは1~2か月前の血糖の状態を示す数値で、6.5%を超えると糖尿病の疑いがあるといわれています。



★ HbA1c の判定

判定	HbA1c 判定値
基準範囲	5.5%以下
△軽度異常(予備軍)	5.6~6.4%
▲異常(受診が必要)	6.5%以上

ご自身の健診結果はいかがでしたか? 健診項目に▲(異常)があった方は医療機関の受診をおすすめします。△(軽度異常)があった方は、食事や運動など生活習慣の見直しで数値を改善することができます。町の保健師・管理栄養士・看護師がサポートしますので、お気軽にご相談ください。

次回の5月号は皆さんの健康を応援するスタッフをご紹介します!

◆◆ 特定健診約1万円分+がん検診が“無料”! ◆◆

大熊町では20歳から町の健診を受けることができます。大熊町の総合健診は“無料”でいまの体の健康状態を知る機会ですので、毎年受けている方も初めての方も、令和6年度の総合健診を受けましょう! 受診を希望される方は、健康保険課までお問い合わせください。

管理栄養士のヘルシーレシピ

菜の花とたけのこを加えた春の味覚の混ぜご飯です。春が旬の野菜や山菜はほろ苦いものが多く、この苦味が冬から春にかけての身体の調子をととのえ、目覚めさせるといわれています。

■ 材料 (4人分) ■

米……………2合	油揚げ……………1/2枚	
鶏もも肉	菜の花……………30g	
………1枚(240g)	A {	
ゆでたけのこ…60g		しょうゆ…大さじ2
人参…1/4本(40g)		みりん……大さじ2
	塩……………小さじ1	

■■ つくり方 ■■

1. 米は洗ってザルに上げ、水をきる。
2. 鶏肉は一口大に切る。たけのこ、人参は短冊切りにする。油揚げは熱湯をかけて油抜きをし、5mm幅の短冊切りにする。菜の花はゆでて水けをしぼり、1cm幅の小口切りにする。
3. 炊飯器に1.の米、Aを入れ、2.の鶏肉・たけのこ・人参・油揚げをのせて炊く。
4. 炊き上がったら2.の菜の花の小口切りを加えてよく混ぜ、器に盛る。

◆ たけのこと 菜の花の五目ごはん

【1人分 428kcal たんぱく質16.8g 脂質10.2g 食塩2.1g 食物繊維1.2g】





～ 気軽にご相談ください ～

大熊町子育てサポートセンター「おおくまっこ」



子育てサポートセンター「おおくまっこ」は、妊娠期から子育て期までを安心して過ごせるよう、さまざまな相談に応じる総合窓口です。子育てに悩んだり、困ったり、不安を感じた時は、ひとりで抱え込まずにご相談ください。保健師や管理栄養士、看護師などが一緒に解決策を考えます。窓口に来所することが難しい方は、電話相談も受け付けていますので、気軽にご相談ください。

どんなことをしているの？

- ◆母子健康手帳の交付から、妊娠8か月頃、出産後2か月頃、子育て期と切れ目なく伴走型相談支援を行い、必要な情報を提供しています。
- ◆一人ひとりの状況に応じた支援プランを作成しています。
- ◆必要時は各関係機関と連携して支援を行っています。



窓口キッズスペース等を設けています。
小さなお子様を連れてお気軽にお越しください。



▲大熊町役場



▲中通り連絡事務所



▲いわき出張所

子育てサポートセンター おおくまっこ



大熊町役場 健康保険課 (大熊町大川原字南平 1717)

☎0240-23-7419

いわき出張所 健康介護係 (いわき市好間町下好間鬼越 18)

☎0246-36-5671

会津若松出張所 保健福祉係 (会津若松市インター西 111)

☎0242-23-4121

中通り連絡事務所 生活支援係 (郡山市希望ヶ丘 11-10)

☎024-983-0686

❀ お知らせ ❀

大熊町は、地域にお住まいの皆さまの健康支援のため、町の保健師・看護師・管理栄養士等の専門職が家庭訪問等をさせていただく場合があります。

また、町が依頼し、各保健福祉事務所の看護職等にご協力いただき、電話や訪問での健康面の確認をさせていただいております。

電話連絡や訪問等がありましたら、ご理解とご協力をお願いします。



母子健康手帳交付希望の皆さまへ ご妊娠おめでとうございます



大熊町子育てサポートセンター「おおくまっこ」は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援のため母子健康手帳の交付時に、保健師等の専門職が妊婦さんの体調や心配事のお話をうかがいます。

母子健康手帳交付希望の方は日程調整をしますので本庁舎・各出張所にご連絡ください。

教えて おおちゃん 放射性物質

何かと疑問の多い放射性物質について、大熊町役場で相談窓口を担当している長崎大学の専門家の皆さんが解説します。

私たち長崎大学は、大熊町での復興支援活動の一環として毎月「放射線と健康」をテーマとした連載を掲載しています。

前2回のコラムで、中間貯蔵事業と除去土壌の課題について解説しました。現在長崎大学は、中間貯蔵施設や特定復興再生拠点区域内の放射線量を調べるため、自動車に線量計を搭載し、区域内の公道を走って空間線量率の測定を実施しています。

図は、2022年11月に測定を実施した結果です。赤い枠の範囲が中間貯蔵施設、青枠の範囲が特定復興再生拠点区域で、ここでは中間貯蔵施設内の結果を紹介します（特定復興再生拠点区域は測定範囲の約80%が1年間で2ミリシーベルト以下の空間線量率でした）。下に示している表では、空間線量率の範囲を色で示していますが、1時間あたり0.38-0.95マイクロシーベルトが中間貯蔵施設全体の約43%、次いで1時間あたり0.95-1.9マイクロシーベルトが約31%でした。中間貯蔵施設内の除染は行われていませんが、全体の90%近くは、1年間での追加被ばく線量が2.1ミリシーベルト※を下回っていました。

放射線関連業務の従事者における線量限度は、1年間で50ミリシーベルトを超えず、かつ5年間で100ミリシーベルト以下と法令で決められていますので、この結果はその基準を満たしていました。一方、廃炉を行っている作業員は個人線量計を携帯して、被ばく線量を管理していますが、東京電力は廃炉作業員の1か月間の平均被ばく線量を公開しており、2021年1月の平均は0.3ミリシーベルトでした。これは、胸のレントゲン写真1枚分の半分程度の被ばく量ですから、基準と照らし合わせても十分に低い値であるといえます。

長崎大学では、放射線被ばくと健康についてのご相談をいつでもお待ちしております。大熊町役場を通じてお気軽にお問い合わせください。



図 走行サーベイによる線量マッピング

※1年間の被ばく線量は廃炉作業従事者の労働環境を想定し、1日あたり8時間、1か月に20日間労働した場合の労働時間にセシウムのガンマ線に対する実行線量や周辺線量当量の換算係数を乗じて計算した。

参考：TEPCO「もっと知りたい廃炉のこと」：廃炉作業員の被ばく線量は？

放射性物質の疑問・お悩みをお持ちの方へ

相談窓口 にご相談ください！

そんな疑問や悩みをお持ちの方のため、長崎大学の協力で町役場に放射線リスクコミュニケーション相談窓口を開設しています。

町に戻ってからも、安心して暮らしたいですよね。お気軽にご利用ください。長崎大学の保健師や公認心理師らの4人が担当します。

時 平日の午前8時30分～午後5時15分

場 大熊町役場 健康保険課 ☎0240-23-7419



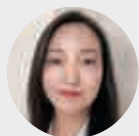
柏崎佑哉
(公認心理師)



松永妃都美
(保健師)



折田真紀子
(保健師)



肖旭
(公衆衛生)

町内の空間放射線量

(令和6年3月15日午前9時現在)

町内で空間線量を測定しているモニタリングポストの数値をお知らせします。

表は、避難指示が解除された区域に設置されている機器を抜粋して掲載したものです。

町内全体のデータは町環境測定サイネージでご確認ください。

測定地点名	空間放射線量 (μ Sv/h)
中屋敷集会施設	0.09
大熊町役場	0.08
福島給食センター	0.13
やすらぎ霊園	0.08
野上二区地区集会所	0.32
インキュベーションセンター (旧大野小学校)	0.13
大熊町保健センター	0.28
大野駅	0.20

測定地点名	空間放射線量 (μ Sv/h)	
大熊町文化センター	0.53	
旭台公園	0.32	
熊一区地区集会所	0.26	
大和久区地区集会所	0.31	
町区集落センター	0.45	
参考	いわき市役所	0.06
	郡山市役所	0.07
	会津若松市役所 (追手町第二庁舎)	0.04

放射線・除染等に関する問い合わせ先

土地の放射線量測定（モニタリング）

特定復興再生拠点区域内の住居へ帰還を検討されている方で、敷地内の放射線量が気になる方は、放射線量を測定しますので、ご連絡ください。

問 福島地方環境事務所 浜通り南支所（除染担当）
☎ 0240-25-8993
 （平日午前8時30分～午後5時15分）

内部被ばく検査

町は毎月1回、大熊町役場でホールボディカウンターによる内部被ばく検査を行っています。予約不要で無料です。日程はお問い合わせください。

また、県内外の医療機関や県内施設でも内部被ばく検査を無料で受けることができます。町外での検査は予約が必要です。

問 大熊町役場 健康保険課 保健衛生係

個人線量計の貸出

町内での生活における外部被ばく線量を把握することで不安を解消するため、1時間ごとの被ばく線量を測定できる積算線量計（Dシャトル）を無料で貸し出します。

問 原子力安全研究協会
☎ 0120-511-157

食品の放射性物質測定

町内で栽培した野菜を出荷・配布する場合は、県のモニタリング検査が必要です。

問 双葉農業普及所
☎ 0240-23-6472

自家消費野菜は、検査の必要はありませんが、安全確認のために、町の検査が受けられます。

検査には1種類につき1kg 必要です。

■検査場所

- ・大熊町役場 農業振興課 窓口
- ・大熊町役場 いわき出張所 窓口

問 大熊町役場 農業振興課

水の放射能濃度測定

水道水中のモニタリング検査を行います。検査を希望される方は、お申し込みください。

問 双葉地方水道企業団 施設課浄水係
☎ 0240-25-5341

井戸をお使いの方は、町が井戸水の放射能濃度測定を行います。

問 大熊町役場 環境対策課 生活環境係

住民一時立ち入りスケジュールについて

【一時立ち入り受付コールセンター】

☎ 0120-220-788（フリーダイヤル）

■申込受付時間

平日…午前8時～午後8時
 土日祝日…午前8時～午後5時

【WEB予約】

<https://www.ichijitachiiri.com/>

WEB予約は24時間受け付けます。マイカーによる立ち入りは希望日の2日前、従来型バス立ち入りは申し込み締切日までにお申し込みください。



■マイカー立ち入り※大野SC場以外はお問い合わせください

実施日
 (当日受付可)

実施日
 (当日受付不可)

休止日

4月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
大野																														

5月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
大野																															

■バス立ち入り※実施日のみ

4月

日	4月は実施なし
曜日	
大野	

5月

日	10	11	17	18	24	25	31
曜日	金	土	金	土	金	土	金
大野							

特定復興再生拠点区域内にお住まいだった方へ

帰還困難区域内の墓参による一時立ち入りについて、環境対策課での申請をお願いしていましたが、令和6年度も一時立ち入り受付コールセンターでの受け付けが可能となりましたのでお知らせします。



2024
4月

卯月
April

おおくまカレンダー

今月のイベント情報をまとめました。
丸数字(①など)は、
詳しい内容を掲載したページ番号です。
通いの場のスケジュールは③ページをご覧ください。

【実施団体】

- ♪ 主なイベント
- ♣ 保健センター
- 出張所・連絡事務所
- 🍷 ほっと大熊
- 各コミュニティ団体
- ◆ 町社会福祉協議会 (なごみを参照)
- おおくまコミュニティづくり実行委員会
- ◎ その他
- (★マークがついているイベント等は予約が必要です)

日	月	火	水	木	金	土
	1 🍷 コラーゲン風呂②	2	3	4	5 ■ おおくま町会津会⑦	6 ♪ 春の坂下ダムウォーキングイベント★
7 🍷 さくらの香り湯②	8 🍷 さくらの香り湯② ◎ しまむら出張販売②	9	10	11 🍷 メンズ DAY 高麗人参の香り湯②	12	13 ♪ 第8回料理教室②★
14	15 🍷 乳酸菌風呂湯②	16	17 ◎ ノルディックウォーキング③★	18 🍷 レディース DAY 金木犀の香り湯②	19 ■ おおくま町会津会⑦	20 ■ おおくま PG 協会春の大会★
21 ♪ おおくま CINEMO ②★	22 🍷 4月の季節風呂 どくだみの香り湯②	23	24 ♪ おおくま CINEMO ②★	25	26 🍷 おふろの日②	27 ♪ 大熊町交流ゾーン ゴールデンウィークイベント② 🍷 火籠湯 (男湯) ② 🍷 発汗湯 (女湯) ②
28 ♪ 大熊町交流ゾーン ゴールデンウィークイベント② 🍷 ビールの香り湯 (男湯) ② 🍷 ワインの香り湯 (女湯) ②	29 昭和の日 🍷 ひのきの香り湯 (男湯) ② 🍷 花風呂 (女湯) ②	30 🍷 はちみつの香り湯 ②				

イベント参加時のお願い

新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ拡大防止のため、お越しになる際は、ご自宅で体温測定を実施したうえで、マスク着用、アルコール消毒のご協力をお願いします。また、体調不良の方は参加を見合わせてください。

◆ 町社会福祉協議会へのお問い合わせは

受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分 ☎ 0240-23-5171

● おおくまコミュニティづくり実行委員会へのお問い合わせは

☎ 0240-23-7101 (復興支援員)



お引っ越しされた方へ

問 大熊町役場 住民税務課 住民係
☎ 0240-23-7146



役場にも
教えてね！

町に届け出していた避難先が変わった際は、ご本人または住民票同一世帯員の方から町へお知らせください。届出は住民課、会津若松出張所、いわき出張所、中通り連絡事務所の各窓口で受け付けています。郵送や電話での届出もできます。

■郵送の場合

役場にある「避難住民届」を記入して送るか、次の項目を記載したメモを送ってください。また、届出人の本人確認書類のコピーを同封してください。

1. 届出人氏名
2. 大熊町の住所
3. 対象者の氏名、生年月日
4. 避難先住所
5. 避難先の滞在開始日（住み始めた日）
6. 電話番号および所有者名
7. 広報おおくまの送付を希望するかどうか

■電話の場合

住民税務課にお電話ください。職員が必要事項をお尋ねします。

おおくままち3.11のつどい有志の会

「3.11のつどい」で実施した令和6年能登半島地震災害支援募金は、34,054円の支援金が集まりました。支援金は、有志の会メンバーが3月16日に石川県を訪れ、社会福祉法人輪島市社会福祉協議会の田中昭二事務局長へ支援者の活動資金として寄付しました。募金へのご協力ありがとうございました。



会場に設置された募金箱



支援金を受け取る田中事務局長

日本舞踊サークルが活動中です

日本舞踊サークルに参加しませんか？詳細は各団体にお問い合わせください。（通いの場合は31ページに記載）

藤咲流 松寿会

時 毎月2回予定

場 自宅（いわき市泉が丘）他

※出稽古も行います。

☎ 090-6221-8008（川村明子）



雅流 華扇会

時 不定期

場 自宅（大熊町内）

☎ 080-6000-2949（亀田）

野馬形区

内 交歓会（総会 午後4時～、懇親会 午後6時～）

令和6年度の交歓会を開催します。近日中に案内状を郵送します。出欠は返信用ハガキでご連絡ください。

なお、案内が届かない、住所が変更になった方はお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしています。

時 6月1日（土）～2日（日）1泊2日

場 いわき湯本温泉 吹の湯（いわき市常磐湯本町吹谷48）

費 案内に記載 期 5月16日（木）

■その他 交通費補助あり

☎ 090-9425-3455（区長 佐嶋郁美）

☎ 080-5220-4051（幹事 池田重雄）

おおがわら会

内 ネクサスファームおおくま工場見学（摘み取り体験）

時 5月4日（土・祝）午前9時30分～

場 ネクサスファームおおくま ※大熊町役場集合

費 小学生以上500円、未就学児無料

定 先着40人 申必要 期 4月25日（木）

問 090-7072-6611（山本千代子）

熊町地区

令和6年度総会を開催します。詳細については案内状を郵送しますのでご参加をお待ちしています。

内 総会、懇親会

時 5月25日（土）～26日（日）1泊2日

場 いわき湯本温泉 吹の湯（いわき市常磐湯本町吹谷48）

費 2,000円 期 5月10日（金）まで

【共通】

☎ 090-2975-4423（加藤直人）

☎ 090-5358-0753（木幡恵明）

☎ 090-2274-8161（幾橋功）

おおくま町会津会

内 ①総会、②交流会

時 ①4月5日（金）、②19日（金）いずれも午前10時

場 県営白虎団地集会所

☎ 090-7078-2327（山本）



町学芸員が、町の歴史や文化にまつわることを紹介します。

おおくま再発見⑰

問 大熊町役場 生涯学習課 社会教育係（文化財担当）

大熊町公民館報から読み解くふるさと

新年度が始まりました。今年度、大熊町は一つの節目を迎えます。町制施行70周年です。

1954（昭和29）年11月1日、大野村と熊町村が合併し、大熊町が誕生しました。それから15年後の1969（同44）年11月1日付で発行された「大熊町公民館報」のトップ記事は、当時の志賀秀正町長による寄稿「町制施行十五年を顧みて」。少し引用してみます。

館報は1956（同31）年に発刊。その創刊号でも、当時の小畑重町長が「合併しなかった方がよかったというような声も聞きますが…」と打ち明け、「先ず第一に人の和」と呼びかけています。町政運営の難しさがにじみますね。

昨年、町公民館の備品等を整理中、昭和30～50年代の館報が見つかりました。読み進めると、徐々に人や組織が融和し、今の熊町につながっていく過程が浮かびます。

生涯学習課は、これらの館報を基に、町の歩みを振り返る事業を進めています。町民の方への聞き取りも実施中です。

当時の町の様子や生活について話していただける方がいましたら、ご連絡をお待ちしています。お手元に昔の館報があるという方、当課で保管できていない号かもしれません。ぜひお声がけください。

皆様のご協力を得ながら、ふるさとの記憶を残していきたいと思えます。

■町公民館報第60号より

「……町民の皆さんの中には、合併当時のいろいろの事がらをまだ、お記憶に残っておられることでありましょう。住民感情のしっくりしないあの頃の町政は、決して坦々たる歩みではなく、むしろ茨の途を歩む感すらあったのであります。……」



大熊町公民館報の第1号

各種問い合わせ先

（記載のない市外局番は0240です）

ゼロカーボン

町ゼロカーボン補助金制度事務局
☎0120-564-632

医療・福祉

町診療所
☎23-7170
ふたば医療センター付属病院
☎23-5090

町社会福祉協議会

☎23-5171

教育

認定こども園 学び舎ゆめの森
☎23-4462
義務教育学校 学び舎ゆめの森
☎23-5341

移住・定住・帰還支援

町移住定住支援センター
☎23-7103

おおくままちづくり公社

☎23-7101

商工・観光・交流

町観光協会
☎23-7101
町インキュベーションセンター
☎23-7721

町商工会

☎23-7380
交流施設 linkる大熊

☎23-7676
宿泊温浴施設ほっと大熊
☎23-5767

郵便

大熊郵便局
☎32-2222

警察・消防

双葉警察署
☎22-2121（緊急通報110）
富岡消防署
☎22-2119（緊急通報119）
災害情報専用テレホンサービス
☎26-0366

電気

東北電力コールセンター
☎0120-066-774

ガス

福島県LPガス協会 相双支部
☎0244-22-1141

上水道

双葉地方水道企業団
☎25-5323
（下水道は町役場復興事業課）

電話

NTT 東日本相談申し込みダイヤル
☎116

ごみ

双葉地方広域市町村圏組合
南部衛生センター
☎25-4609

除染・中間貯蔵施設

除染と中間貯蔵施設に関する問い合わせ窓口
☎0120-027-582

こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住所
吉岡 玲依 志賀 柚月	陸・彩加 幸洋・奈緒子	大野 熊町

ご結婚おめでとう

花むこ	住所	花よめ	住所
半澤 怜 大水 優希	古館 西大和久	鹿目 美鈴 村越 達江	古館 小野町

おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住所
武澤 耕治 渡邊 アヤ子 鈴内 八重子 木村 英男	69歳 91歳 89歳 61歳	錦台 東平 中央台 久麻川

※令和6年2月届出

「広報おおくま」お届けします！

別々に避難されているご家族の避難先に広報紙が届いていない場合は、お届けすることができますので、送付をご希望の方は総務課秘書広聴係までご連絡ください。

また、別々に避難されていたご家族が一緒になり、複数の広報紙が不要になられた方もご連絡ください。

問大熊町役場 総務課 秘書広聴係

大熊町 HP Facebook Instagram



この度、広報担当から異動することになりました。町内外で数多くの出来事取材した8年間。何度も「震災後初めて」と掲載し、歴史的な場面に立ち会う貴重な経験をさせていただきました。町で何が起きているのかお伝えすべく注力し、昨年度は町内1年目の学び舎ゆめの森を重点的にご紹介しました。町と皆さまとの架け橋となるよう広報マインドを後任へ引き継ぎましたので、これからも「広報おおくま」をよろしく願います。(横山)

編集後記

●人のうごき

(令和6年2月29日現在)
住民基本台帳
人口 9,936人
世帯数 3,991世帯

町内居住推計

人口 1,156人
(うち帰還者 250人)

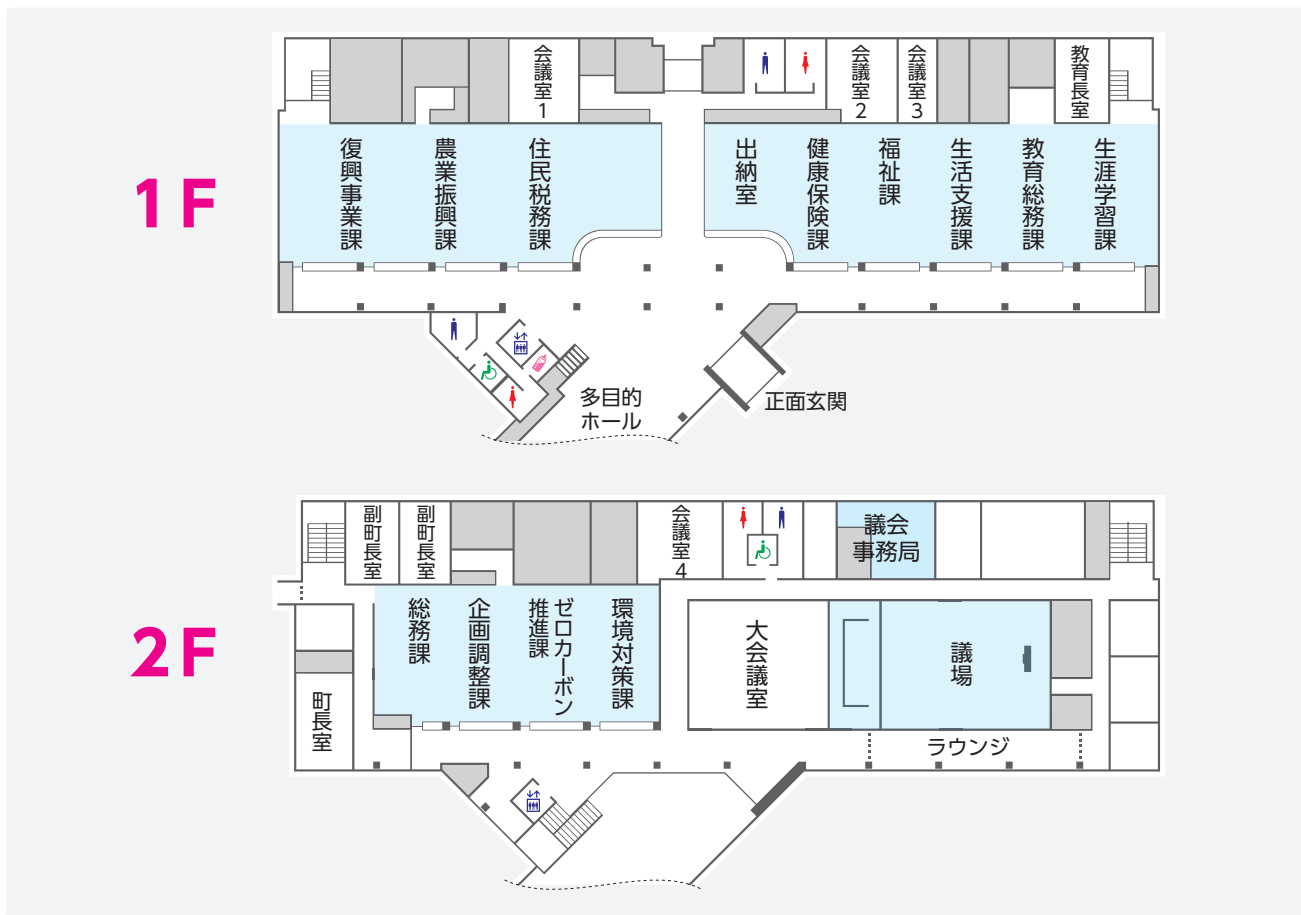
●居住の状況

(令和6年3月1日現在)

都道府県	人数
海外	1
不明	1
北海道	34
青森県	13
岩手県	2
宮城県	175
秋田県	16
山形県	33
福島県	7,732
茨城県	436
栃木県	180
群馬県	68
埼玉県	334
千葉県	237
東京都	219
神奈川県	148
新潟県	144
富山県	4
石川県	11
福井県	5
山梨県	3
長野県	7
岐阜県	4
静岡県	8
愛知県	5
三重県	8
滋賀県	0
京都府	6
大阪府	16
兵庫県	7
奈良県	2
和歌山県	3
鳥取県	0
島根県	0
岡山県	2
広島県	2
山口県	2
徳島県	0
香川県	0
愛媛県	1
高知県	0
福岡県	20
佐賀県	4
長崎県	0
熊本県	2
大分県	6
宮崎県	26
鹿児島県	1
沖縄県	7
計	9,935

福島県内	人数
福島市	175
会津若松市	468
郡山市	961
いわき市	4,405
白河市	55
須賀川市	93
喜多方市	32
相馬市	94
二本松市	29
田村市	50
南相馬市	260
伊達市	9
本宮市	45
桑折町	0
国見町	2
川俣町	0
大玉村	41
鏡石町	10
天栄村	0
下郷町	0
檜枝岐村	0
只見町	0
南会津町	0
北塩原村	0
西会津町	0
磐梯町	5
猪苗代町	1
会津坂下町	13
湯川村	3
柳津町	0
三島町	0
金山町	0
昭和村	0
会津美里町	17
西郷村	15
泉崎村	19
中島村	0
矢吹町	18
棚倉町	1
矢祭町	0
塙町	1
鮫川村	6
石川町	3
玉川村	2
平田村	4
浅川町	0
古殿町	5
三春町	64
小野町	8
広野町	47
檜葉町	43
富岡町	29
川内村	11
大熊町	646
双葉町	0
浪江町	8
葛尾村	3
新地町	31
飯館村	0
計	7,732

大熊町役場庁舎案内



大熊町役場連絡先 ★本庁舎

課名	係名	電話番号 (0240)
総務課	秘書広聴係	23 - 7568
	行政係	23 - 7569
	財政係	23 - 7582
	管財係	23 - 7579
企画調整課	企画調整係	23 - 7584
	地域振興係	23 - 7586
ゼロカーボン推進課	ゼロカーボン推進係	23 - 7597
	産業振興係	23 - 7643
住民税務課	賦課係	23 - 7154
	管理徴収係	23 - 7158
	住民係	23 - 7146
健康保険課	国保年金係	23 - 7143
	保健衛生係	23 - 7419
福祉課	福祉係	23 - 7196
	介護保険係	23 - 7226
	包括支援係	23 - 7238
	子育て支援係	23 - 7197
環境対策課	生活環境係	23 - 7829
	消防交通係	23 - 7831
	廃炉・放射線対策係	23 - 7823
	(立ち入り問い合わせ)	23 - 7598
生活支援課	生活支援係	23 - 7444
	移住定住支援係	23 - 7456

課名	係名	電話番号 (0240)
農業振興課	農政係	23 - 7137
	農林土木係	23 - 7138
	坂下ダム 施設係	32 - 2318
復興事業課	都市計画係	23 - 7068
	建設係	23 - 7019
	下水道係	23 - 7091
出納室	用地調整係	23 - 7791
	出納係	23 - 7149
議会事務局	庶務係	23 - 7840
	議事係	
生涯学習課	社会教育係	23 - 7194
	スポーツ振興係	23 - 7518
教育総務課	総務係	23 - 7532
	こども教育係	23 - 7193

★各出張所・連絡事務所

課名	係名	電話番号
会津若松出張所	庶務係	0242 - 23 - 4121
	保健福祉係	
教育総務課	こども教育係	0242 - 23 - 8025
いわき出張所	住民生活係	0246 - 36 - 5671
	健康介護係	
中通り連絡事務所	生活支援係	024 - 983 - 0686

★住所

大熊町役場 〒 979-1306 大熊町大川原字南平 1717
 いわき出張所 〒 970-1151 いわき市好間町下好間鬼越 18

会津若松出張所 〒 965-0059 会津若松市インター西 111
 中通り連絡事務所 〒 963-8035 郡山市希望ヶ丘 11-10